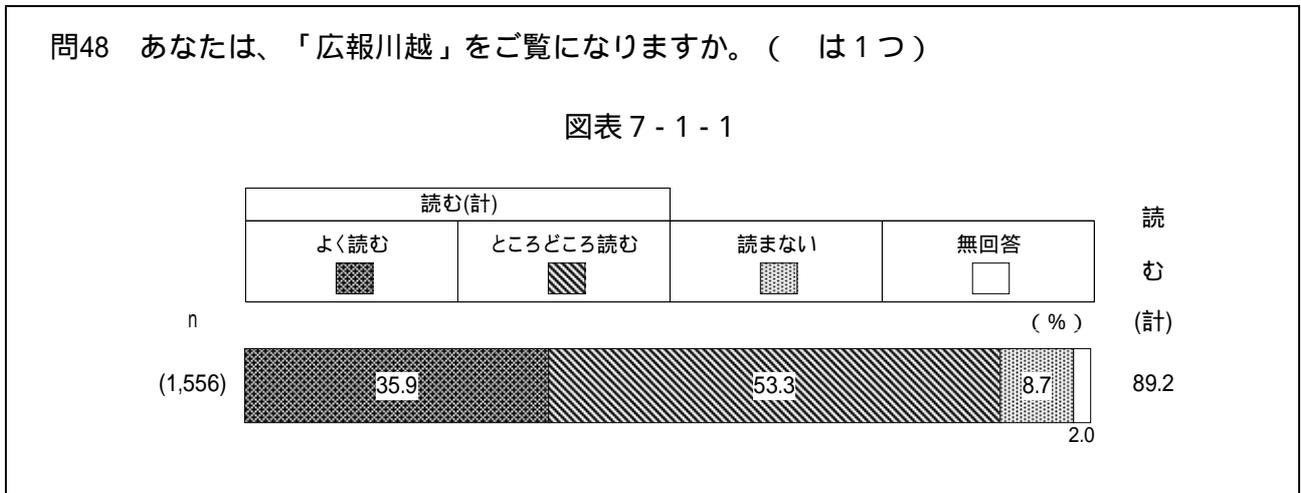


## 7. 市政全般

### (1) 「広報川越」の閲覧状況

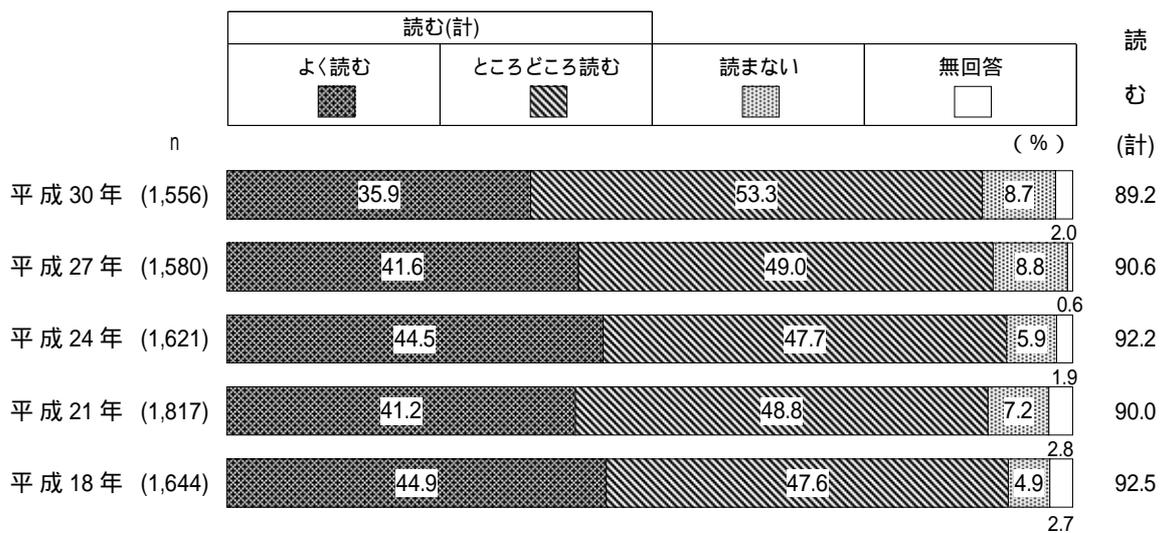
『読む(計)』は89.2%



「広報川越」の閲覧状況をたずねたところ、「よく読む」(35.9%)と「ところどころ読む」(53.3%)を合わせた『読む(計)』(89.2%)は約9割で多くなっている。一方、「読まない」(8.7%)は1割未満となっている。(図表7-1-1)

時系列でみると、「ところどころ読む」は前回調査より4.3ポイント増加している。一方、「よく読む」は前回調査より5.7ポイント減少している。(図表7-1-2)

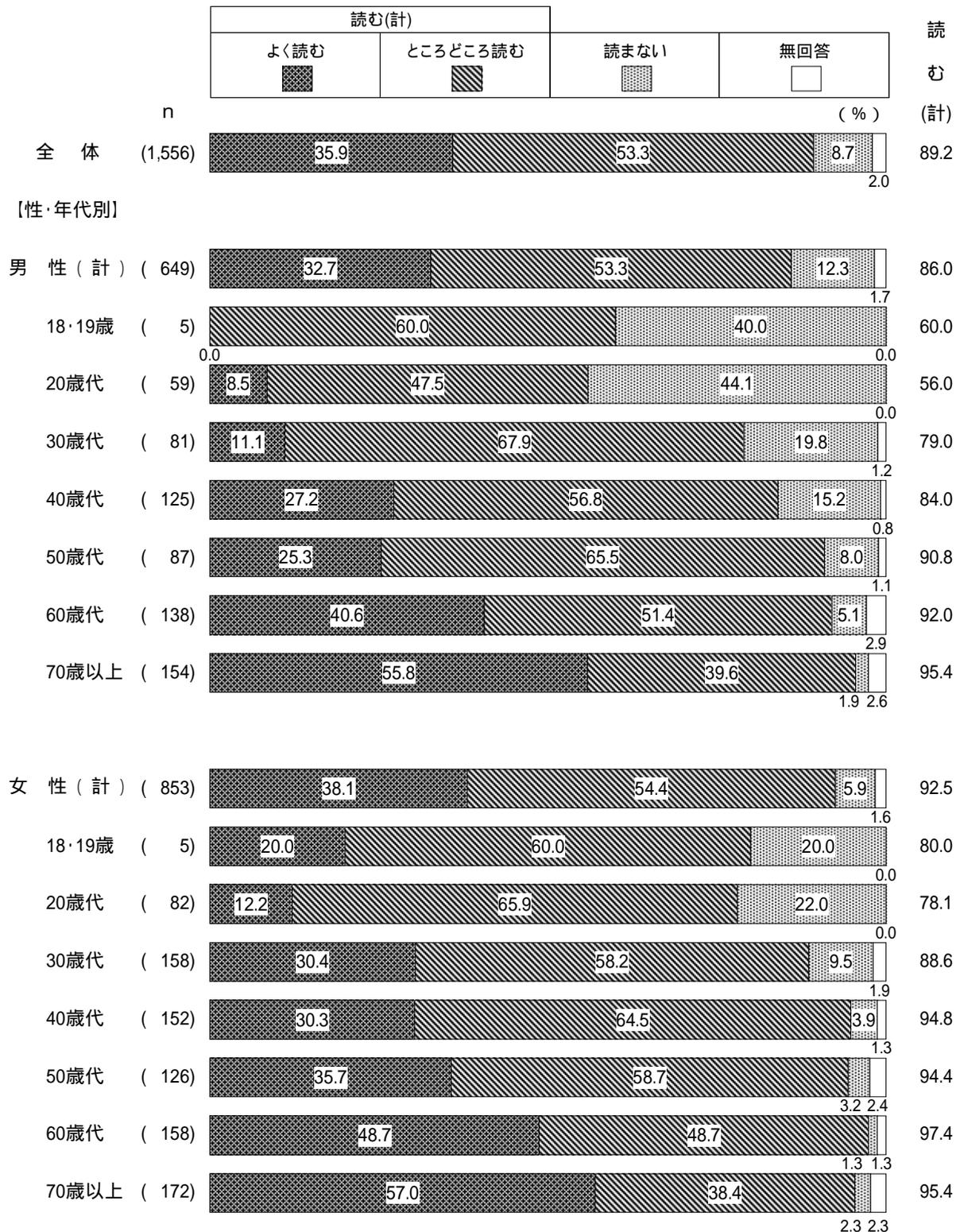
図表 7-1-2 時系列 - 「広報川越」の閲覧状況



性・年代別にみると、『読む（計）』は男性の50歳以上の年代と女性の40歳以上の年代で9割台と多くなっている。一方、「読まない」は男性20歳代で4割半ばと多くなっている。

(図表7-1-3)

図表7-1-3 性・年代別 - 「広報川越」の閲覧状況

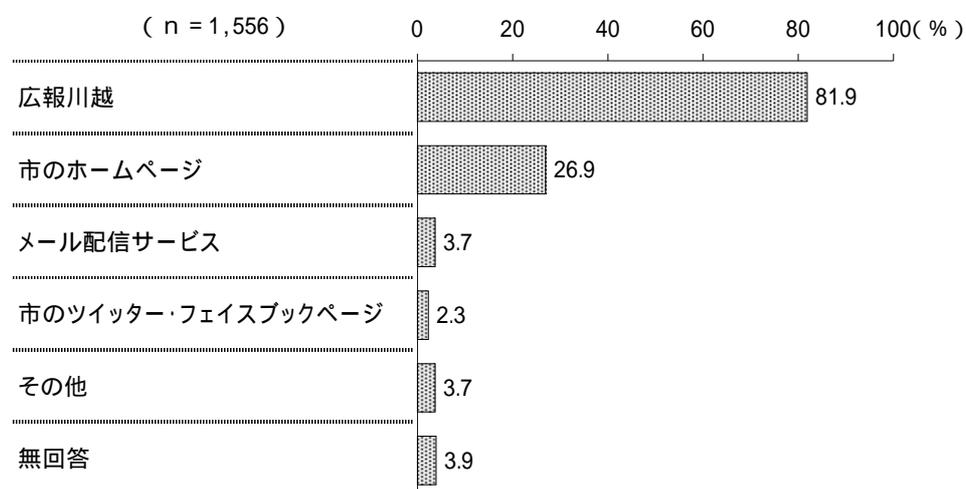


## (2) 市の情報の入手方法

「広報川越」が81.9%

問49 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(はいくつでも)

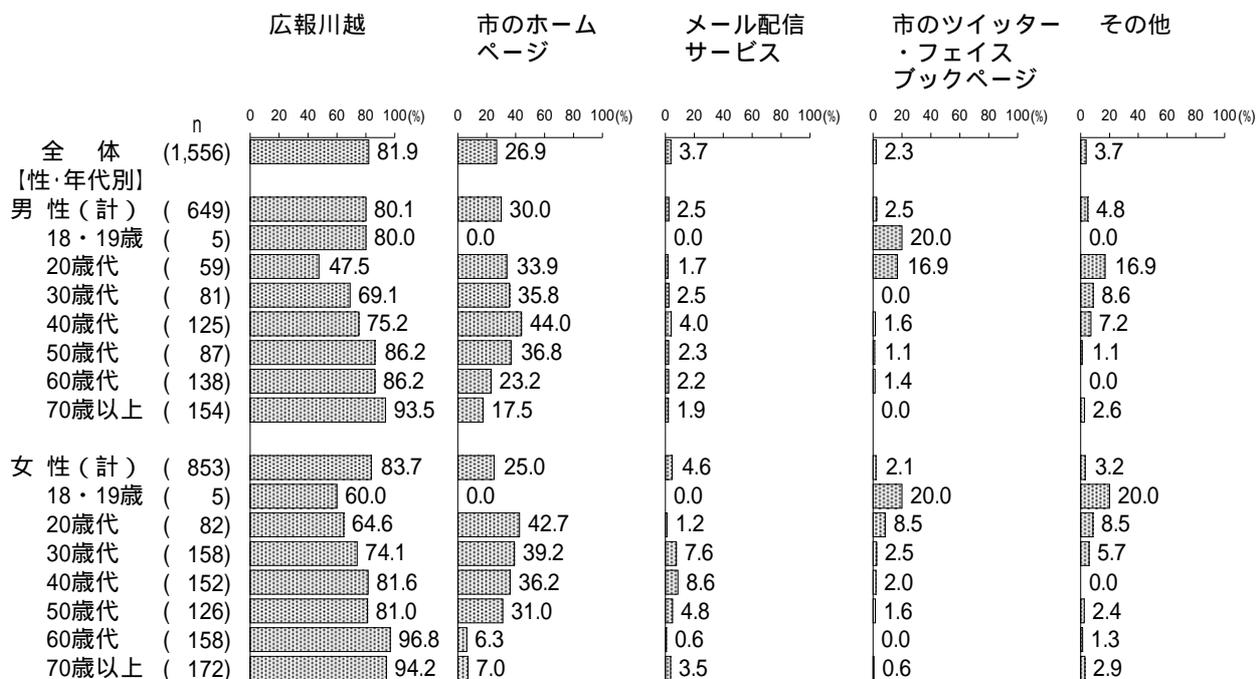
図表 7 - 2 - 1



市の情報の入手方法をたずねたところ、「広報川越」(81.9%)が8割を超えて最も多くなっている。以下、「市のホームページ」(26.9%)、「メール配信サービス」(3.7%)、「市のツイッター・フェイスブックページ」(2.3%)などの順となっている。(図表7-2-1)

性・年代別にみると、「広報川越」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、女性の60歳代と70歳以上、男性70歳以上で9割台となっている。「市のホームページ」は男性40歳代と女性20歳代で4割台と多くなっている。（図表7-2-2）

図表7-2-2 性・年代別 - 市の情報の入手方法

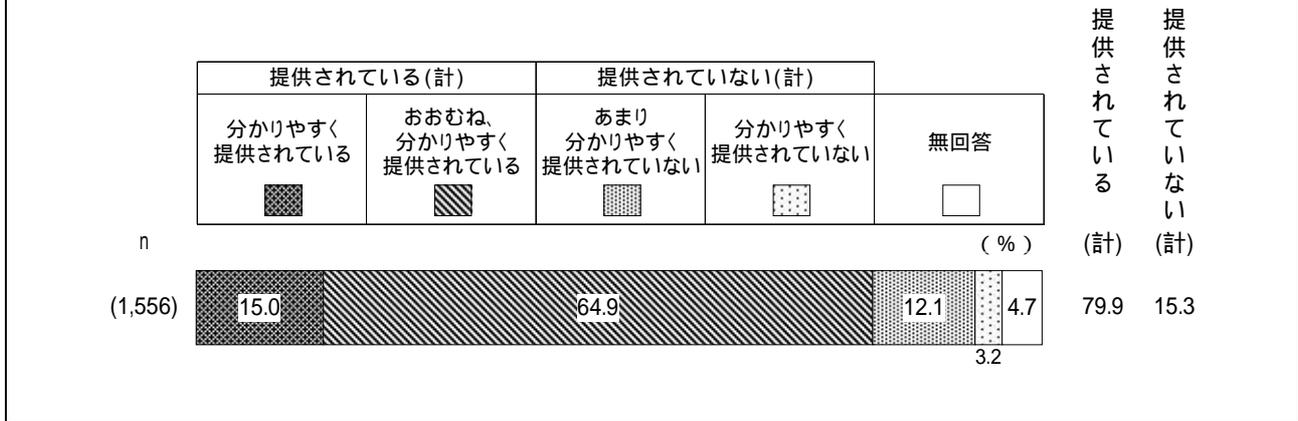


(3) 市の情報提供に対する満足度

『提供されている(計)』は79.9%

問50 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。( は1つ)

図表 7-3-1

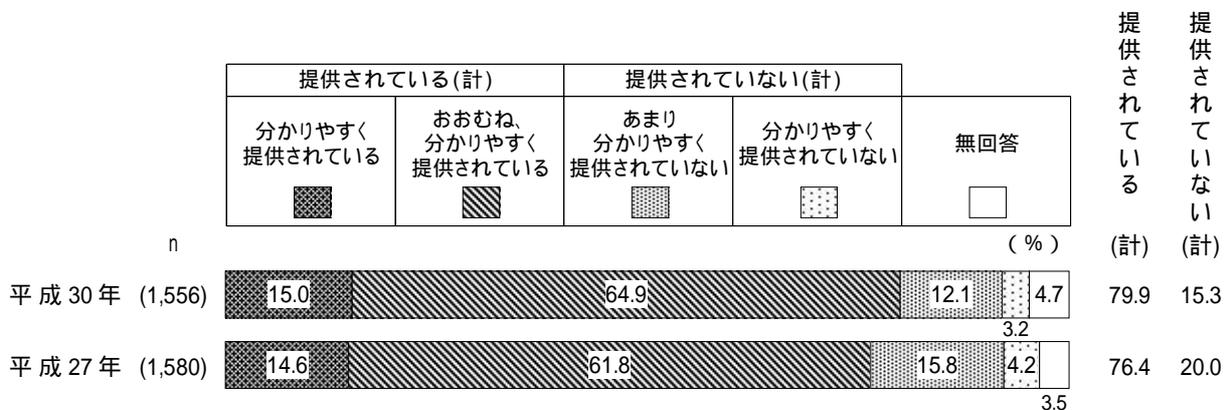


市の情報提供に対する満足度をたずねたところ、「分かりやすく提供されている」(15.0%)と「おおむね、分かりやすく提供されている」(64.9%)を合わせた『提供されている(計)』(79.9%)は8割と多くなっている。一方、「あまり分かりやすく提供されていない」(12.1%)と「分かりやすく提供されていない」(3.2%)を合わせた『提供されていない(計)』(15.3%)は1割半ばとなっている。(図表7-3-1)

時系列でみると、『提供されている(計)』は前回調査より3.5ポイント増加している。

(図表7-3-2)

図表 7-3-2 時系列 - 市の情報提供に対する満足度

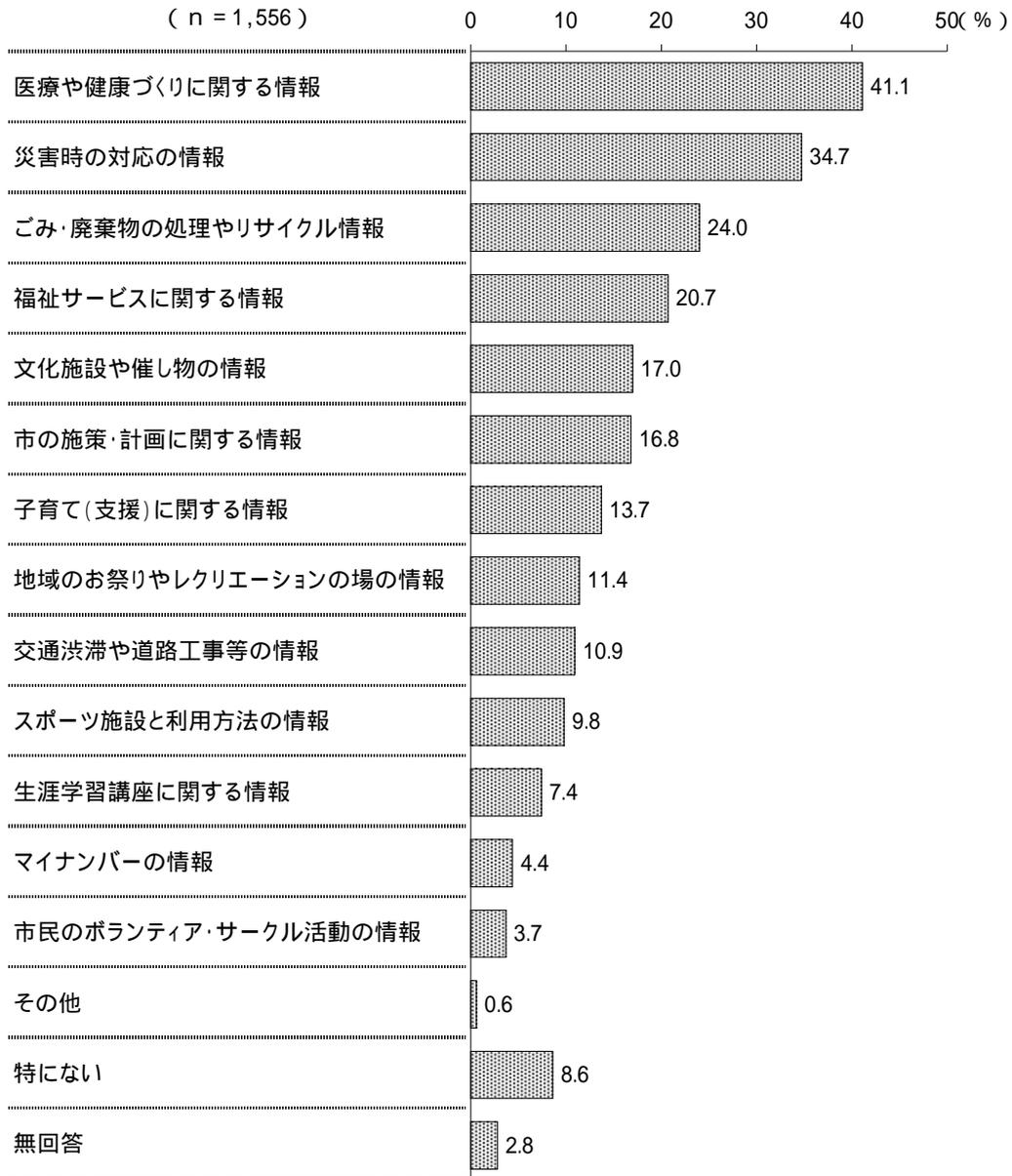


( 4 ) 必要な市の行政情報

「医療や健康づくりに関する情報」が41.1%

問51 あなたが今必要としている市からの情報は何か。次の中から3つ以内で選んでください。( は3つ以内)

図表 7 - 4 - 1

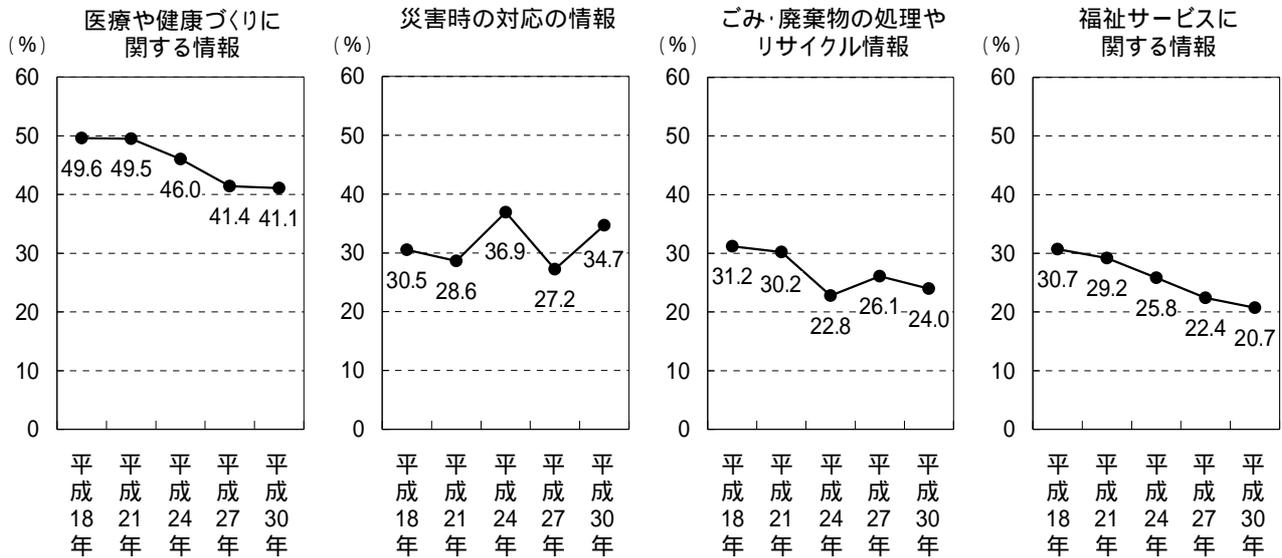


必要な市の行政情報をたずねたところ、「医療や健康づくりに関する情報」(41.1%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「災害時の対応の情報」(34.7%)、「ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報」(24.0%)、「福祉サービスに関する情報」(20.7%)などの順となっている。

( 図表 7 - 4 - 1 )

上位4項目を時系列でみると、「災害時の対応の情報」は前回調査より7.5ポイント増加している。一方、「医療や健康づくりに関する情報」と「福祉サービスに関する情報」は平成18年以降減少傾向となっている。（図表7-4-2）

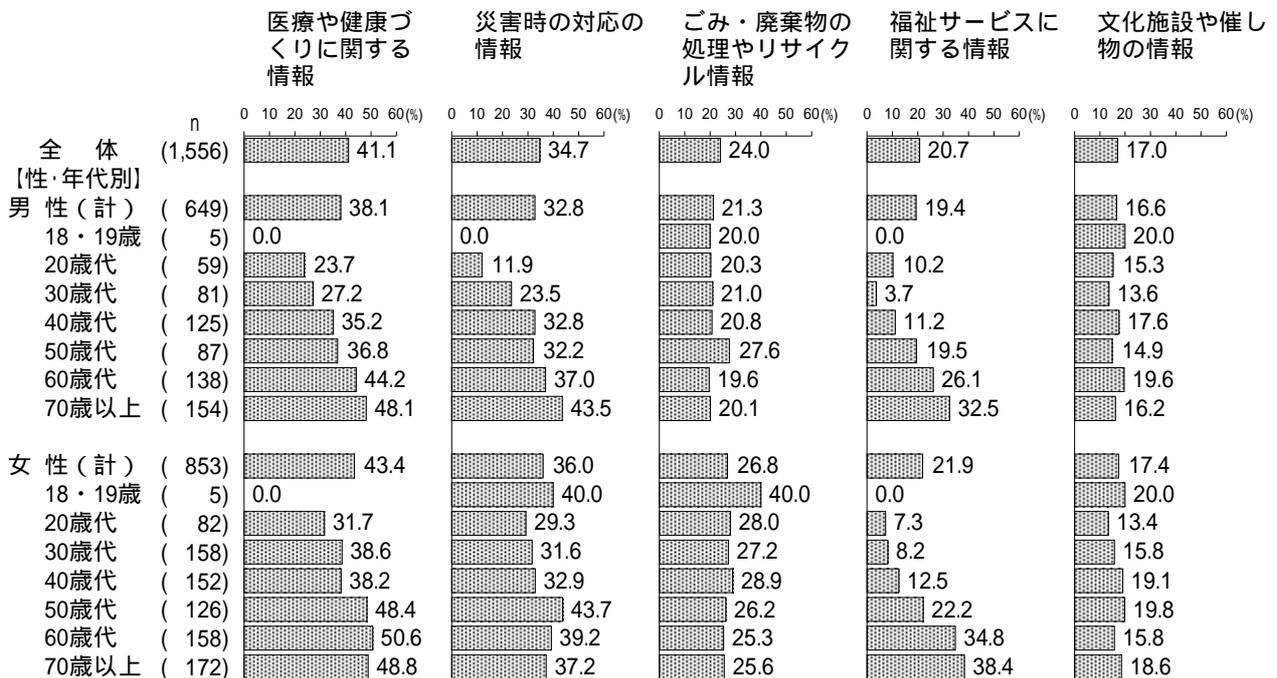
図表7-4-2 時系列（上位4項目） - 必要な市の行政情報



上位5項目を性・年代別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」は女性60歳代で約5割と多くなっている。「災害時の対応の情報」は女性50歳代と男性70歳以上で4割を超えて多くなっている。「福祉サービスに関する情報」は女性70歳以上で4割近くと多くなっている。

（図表7-4-3）

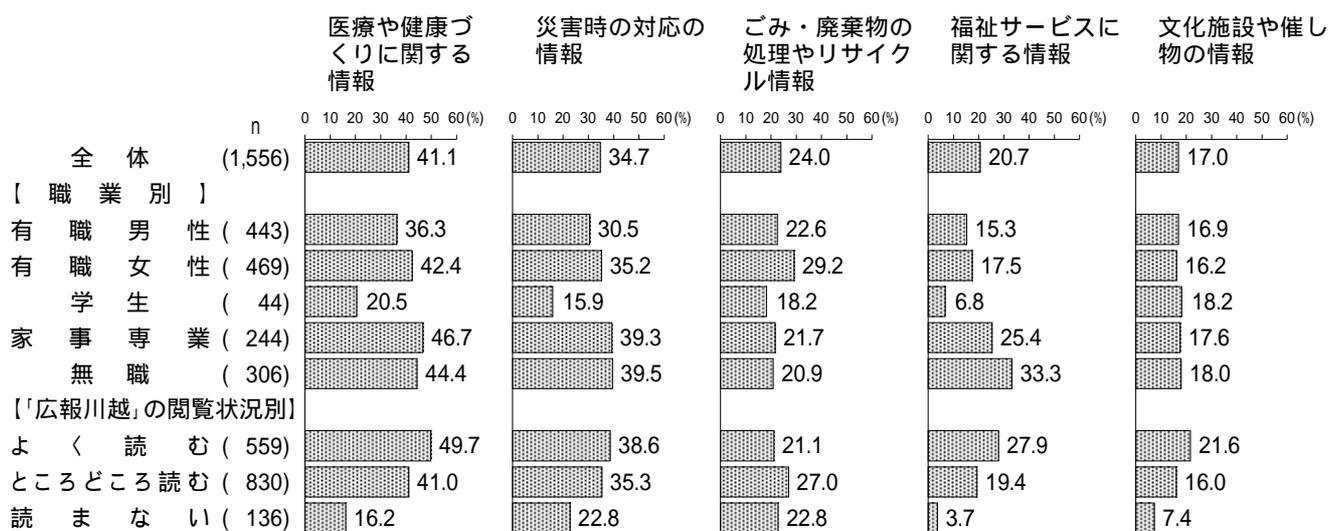
図表7-4-3 性・年代別（上位5項目） - 必要な市の行政情報



上位5項目を職業別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」は家事専業で5割近くと多くなっている。「災害時の対応の情報」は無職と家事専業で約4割と多くなっている。「福祉サービスに関する情報」は無職で3割を超えて多くなっている。

「広報川越」の閲覧状況（問48・172ページ参照）別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」、「災害時の対応の情報」、「福祉サービスに関する情報」、「文化施設や催し物の情報」では「広報川越」の閲覧頻度が高い人ほど、割合が多くなる傾向がみられる。（図表7-4-4）

図表7-4-4 職業別、「広報川越」の閲覧状況別（上位5項目） - 必要な市の行政情報

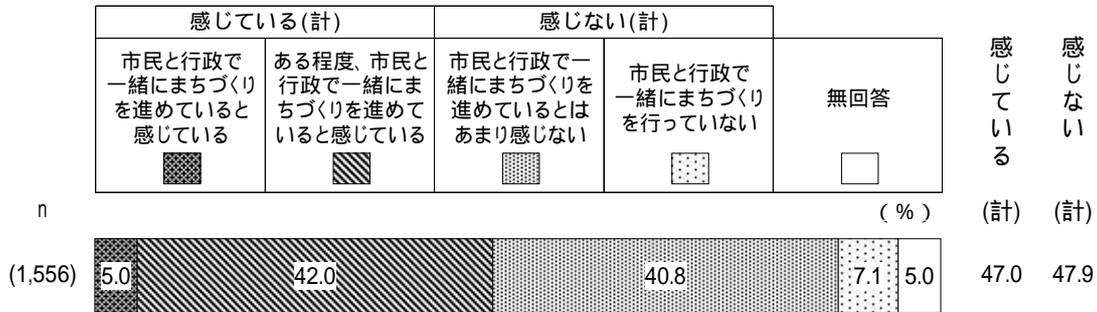


(5) 市民・行政が協働したまちづくりの実感

『感じている(計)』と『感じない(計)』はほぼ同数

問52 あなたは、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(は1つ)

図表 7-5-1



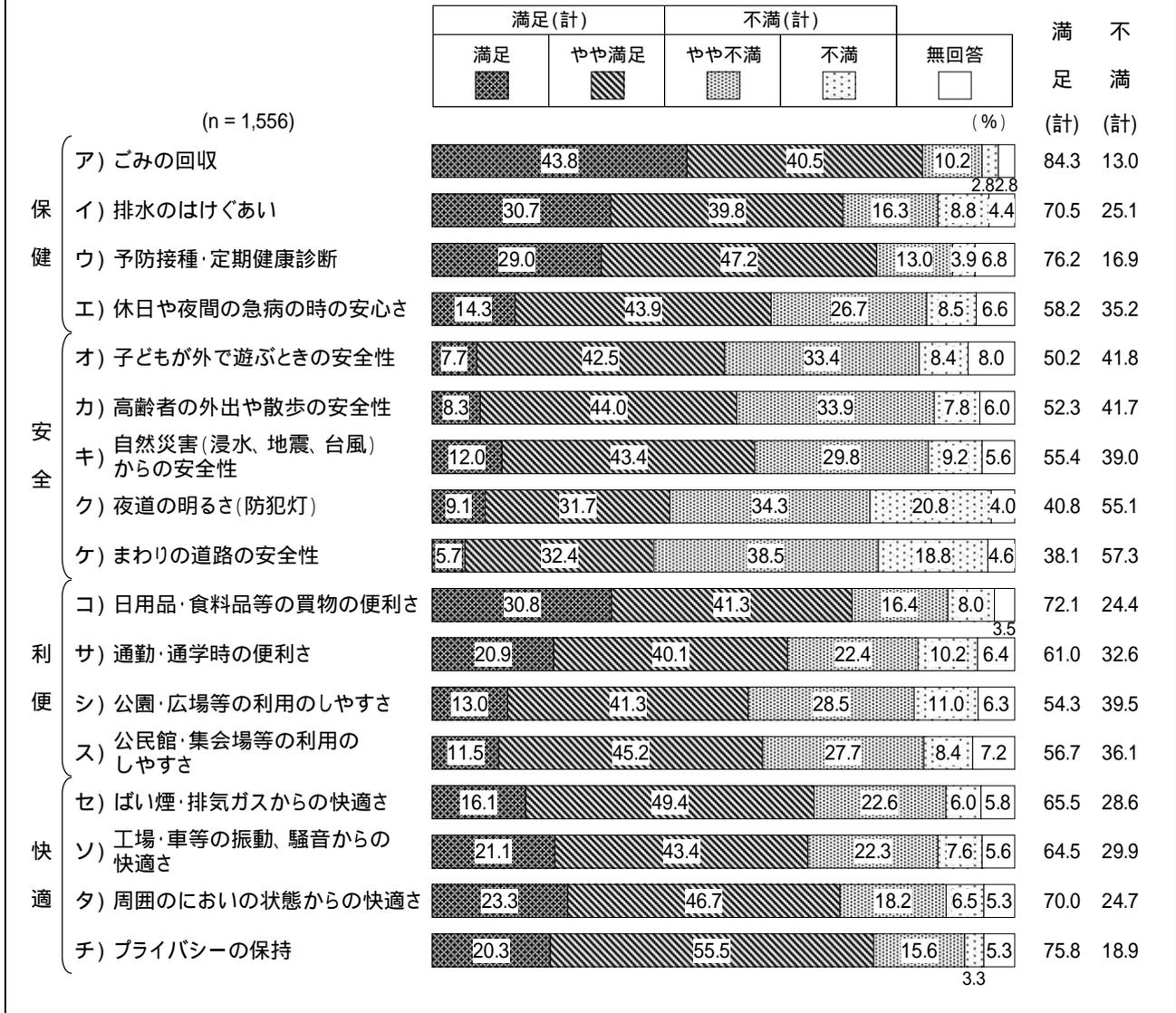
市民・行政が協働したまちづくりの実感をたずねたところ、「市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている」(5.0%)と「ある程度、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている」(42.0%)を合わせた『感じている(計)』(47.0%)は5割近くとなっている。一方、「市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」(40.8%)と「市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない」(7.1%)を合わせた『感じない(計)』(47.9%)は5割近くとなっている。(図表7-5-1)

(6) 地域の生活環境の満足度

17項目中15項目で『満足(計)』が『不満(計)』を上回っている

問53 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。ア～チの項目ごとに1つずつ選んでください。( はそれぞれ1つずつ)

図表7-6-1



地域の生活環境の満足度をたずねたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は、<保健>の分野では“ごみの回収”(84.3%)で8割半ば、<安全>の分野では“自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性”(55.4%)で5割半ば、<利便>の分野では“日用品・食料品等の買物の便利さ”(72.1%)で7割を超え、<快適>の分野では“プライバシーの保持”(75.8%)で7割半ばと、それぞれ最も多くなっている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満(計)』は、<安全>の分野で“まわりの道路の安全性”(57.3%)と“夜道の明るさ(防犯灯)”(55.1%)で5割台と多くなっており、『不満(計)』が『満足(計)』を上回っている。(図表7-6-1)

この質問では、項目間の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + \{\text{「やや不満」} \times (-1 \text{点})\} + \{\text{「不満」} \times (-2 \text{点})\}}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

この算出方法では、評価点は - 2.00 点 ~ + 2.00 点の間に分布し、0.00 点が中間点であり、+ 2.00 点に近いほど評価が良く、逆に - 2.00 点に近いほど評価が悪いことになる。

評価点を地区別にみると、<保健>の分野では、各項目ともすべての地区で評価点が 0.00 以上となっている。

<安全>の分野では、“夜道の明るさ(防犯灯)”の評価点が 0.00 以上となっているのは霞ヶ関北地区のみとなっており、特に芳野地区(- 0.64)の評価点が低くなっている。“まわりの道路の安全性”の評価点が 0.00 以上となっているのは川鶴地区と霞ヶ関北地区のみとなっており、特に芳野地区(- 0.87)の評価点が低くなっている。

<利便>の分野では、“日用品・食料品等の買物の便利さ”は芳野地区を除く 11 地区で評価点が 0.00 以上となっている。“通勤・通学時の便利さ”は芳野地区、古谷地区、福原地区を除く 9 地区で評価点が 0.00 以上となっており、評価点が最高の本庁地区(0.84)と最低の芳野地区(- 0.77)との差が 1.61 となっており、地域差が最も大きくなっている。“公民館・集会場等の利用のしやすさ”は南古谷地区を除く 11 地区で評価点が 0.00 以上となっている。

<快適>の分野では、“ばい煙・排気ガスからの快適さ”はすべての地区で評価点が 0.00 以上となっている。“工場・車等の振動、騒音からの快適さ”、“周囲のにおいの状態からの快適さ”の 2 項目は、芳野地区を除く 11 地区で評価点が 0.00 以上となっている。

ア) からチ) までの評価点の平均値である総合評価点で、すべての地区で評価点が 0.00 以上となっており、最も評価点が高いのは川鶴地区(0.77)となっている。(図表 7-6-2)

図表 7 - 6 - 2 地区別 - 地域の生活環境の満足度（評価点）

地区		市全体	地区											評価点の最高と最低の差	
			本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区		山田地区
項目															
	保健	ア) ごみの回収	1.15	1.20	1.00	1.23	0.97	1.00	1.13	1.24	1.19	1.24	1.40	1.32	1.16
イ) 排水のはけぐあい		0.70	0.93	0.49	0.44	0.30	0.55	0.25	0.77	0.79	1.08	1.07	0.72	0.47	0.83
ウ) 予防接種・定期健康診断		0.91	1.05	1.07	0.73	0.77	0.85	0.72	0.92	0.98	0.87	1.06	0.89	0.79	0.35
エ) 休日や夜間の急病の時の安心さ		0.31	0.45	0.72	0.49	0.30	0.28	0.01	0.39	0.19	0.09	0.16	0.18	0.47	0.71
安全	オ) 子どもが外で遊ぶときの安全性	0.08	-0.04	0.07	0.06	0.14	-0.13	-0.11	0.23	0.31	0.61	0.34	0.06	-0.09	0.74
	カ) 高齢者の外出や散歩の安全性	0.12	0.05	-0.09	0.25	0.23	-0.05	0.09	0.31	0.14	0.72	0.19	-0.02	-0.03	0.81
	キ) 自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	0.20	0.32	-0.23	-0.19	-0.13	-0.13	0.18	0.59	0.36	0.80	0.35	0.03	0.24	1.03
	ク) 夜道の明るさ(防犯灯)	-0.27	-0.12	-0.64	-0.46	-0.54	-0.42	-0.52	-0.26	-0.08	-0.09	0.08	-0.28	-0.20	0.72
	ケ) まわりの道路の安全性	-0.34	-0.21	-0.87	-0.53	-0.51	-0.54	-0.72	-0.27	-0.15	0.32	0.00	-0.60	-0.25	1.19
利便	コ) 日用品・食料品等の買物の便利さ	0.73	1.18	-0.17	0.02	0.91	0.77	0.05	0.56	0.71	1.07	1.31	0.13	0.69	1.48
	サ) 通勤・通学時の便利さ	0.42	0.84	-0.77	-0.33	0.13	0.69	-0.04	0.28	0.50	0.74	0.76	0.14	0.00	1.61
	シ) 公園・広場等の利用のしやすさ	0.18	0.12	-0.21	0.16	-0.15	0.02	-0.01	0.46	0.38	1.00	0.90	-0.02	-0.07	1.21
	ス) 公民館・集会場等の利用のしやすさ	0.25	0.21	0.13	0.10	-0.02	0.25	0.20	0.49	0.27	0.75	0.62	0.32	0.14	0.77
快適	セ) ばい煙・排気ガスからの快適さ	0.50	0.53	0.24	0.41	0.56	0.55	0.20	0.42	0.50	0.97	0.71	0.68	0.30	0.77
	ソ) 工場・車等の振動、騒音からの快適さ	0.51	0.48	-0.17	0.45	0.33	0.74	0.23	0.44	0.55	0.94	0.93	0.71	0.36	1.11
	タ) 周囲のにおいの状態からの快適さ	0.66	0.79	-0.09	0.32	0.39	0.82	0.22	0.72	0.71	0.98	0.96	0.69	0.57	1.07
	チ) プライバシーの保持	0.78	0.84	0.41	0.68	0.75	0.80	0.61	0.74	0.74	1.02	1.17	0.85	0.92	0.76
総合評価点		0.41	0.51	0.05	0.23	0.26	0.36	0.15	0.47	0.48	0.77	0.71	0.34	0.32	0.72

注1)  は、評価点の最高値、 は、評価点の最低値

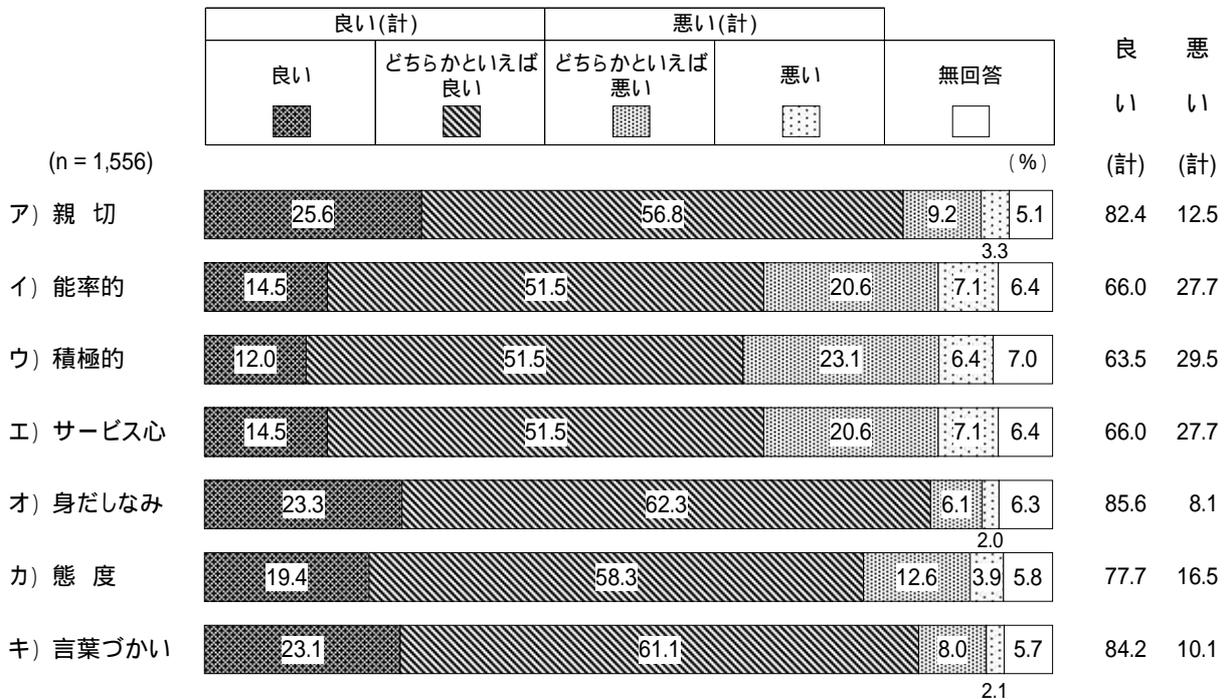
注2) 総合評価点は各項目の評価点の平均値

(7) 市職員のイメージについて

『良い(計)』は“身だしなみ”で85.6%、“言葉づかい”で84.2%

問54 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。( はそれぞれ1つずつ)

図表 7-7-1



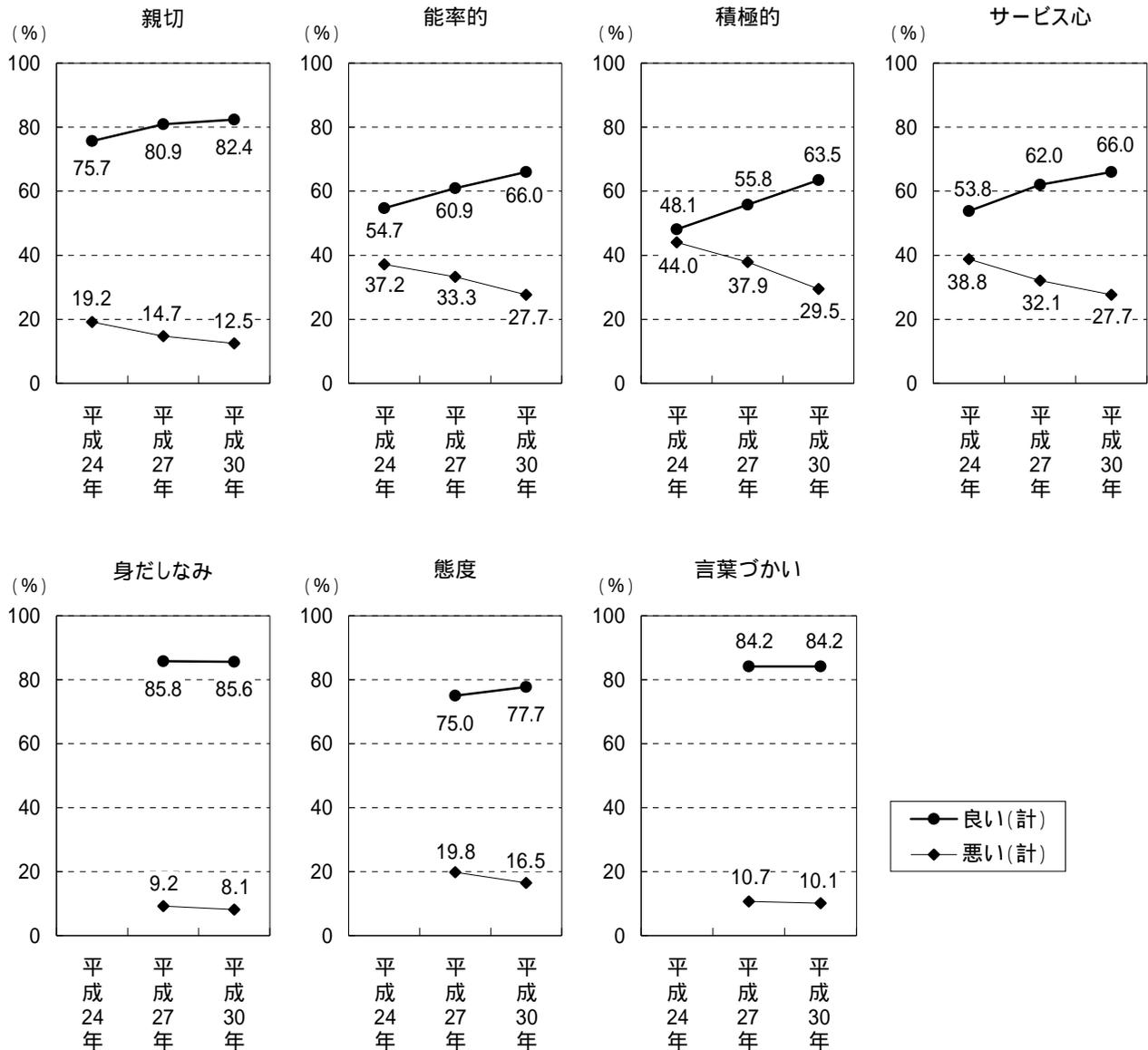
市職員のイメージについて、7項目に分けて評価をたずねたところ、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い(計)』は“身だしなみ”(85.6%)と“言葉づかい”(84.2%)で8割半ばと多くなっている。以下、“親切”(82.4%)、“態度”(77.7%)などの順となっている。

一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた『悪い(計)』は“積極的”(29.5%)で3割と最も多くなっている。以下、“能率的”と“サービス心”(ともに27.7%)などの順となっている。(図表7-7-1)

時系列でみると、『良い(計)』は“親切”、“能率的”、“積極的”、“サービス心”で平成24年以降増加傾向となっており、“積極的”では前回調査より7.7ポイント増加している。

(図表7-7-2)

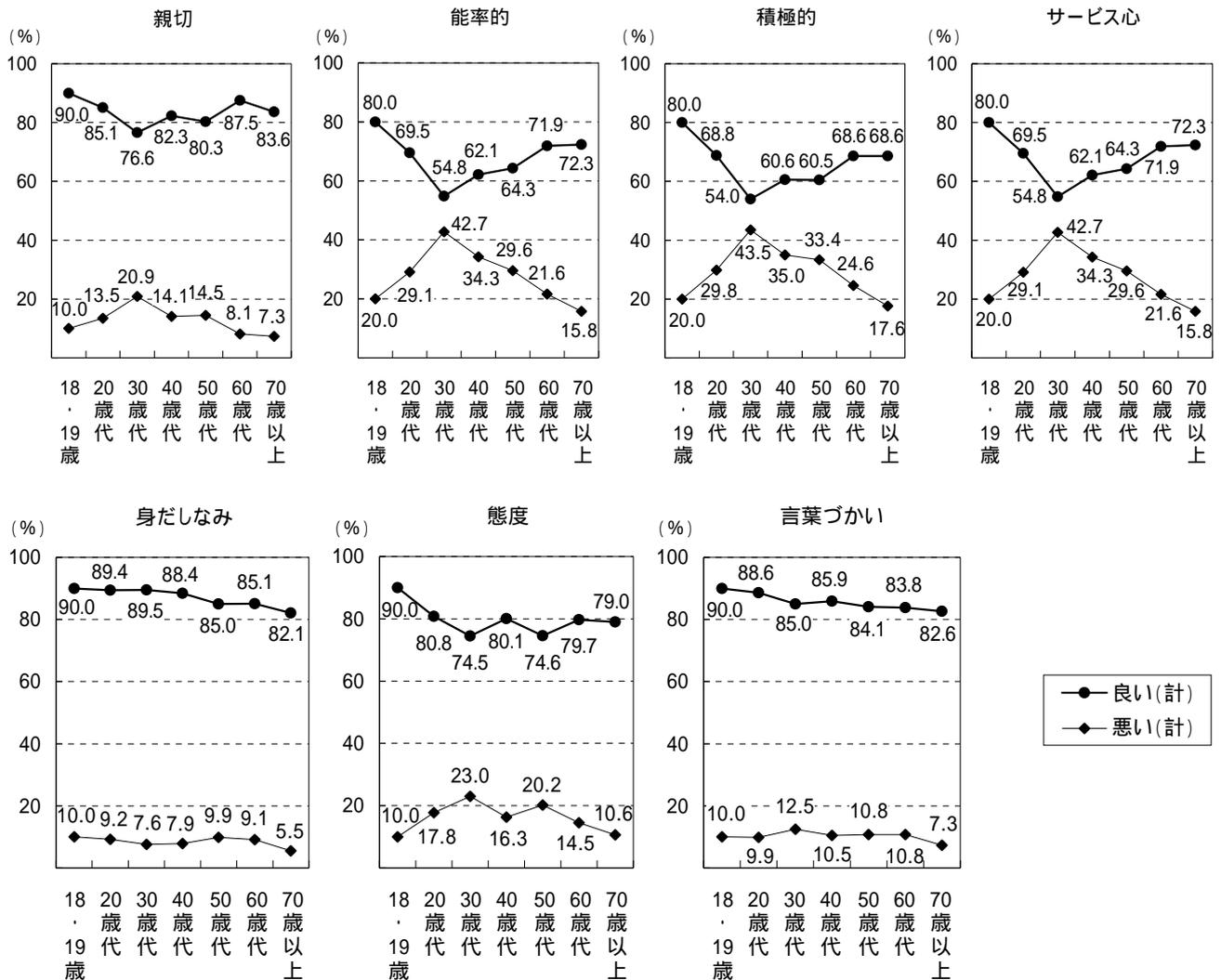
図表7-7-2 時系列 - 市職員のイメージについて



(注) 「身だしなみ」、「態度」、「言葉づかい」は、平成27年から追加された選択肢。

年代別にみると、『良い(計)』は“能率的”と“サービス心”で30歳以上の年代では年代が高くなるにつれて多くなっている。一方、『悪い(計)』は“能率的”、“積極的”、“サービス心”で30歳代が4割を超えて多くなっている。(図表7-7-3)

図表7-7-3 年代別 - 市職員のイメージについて



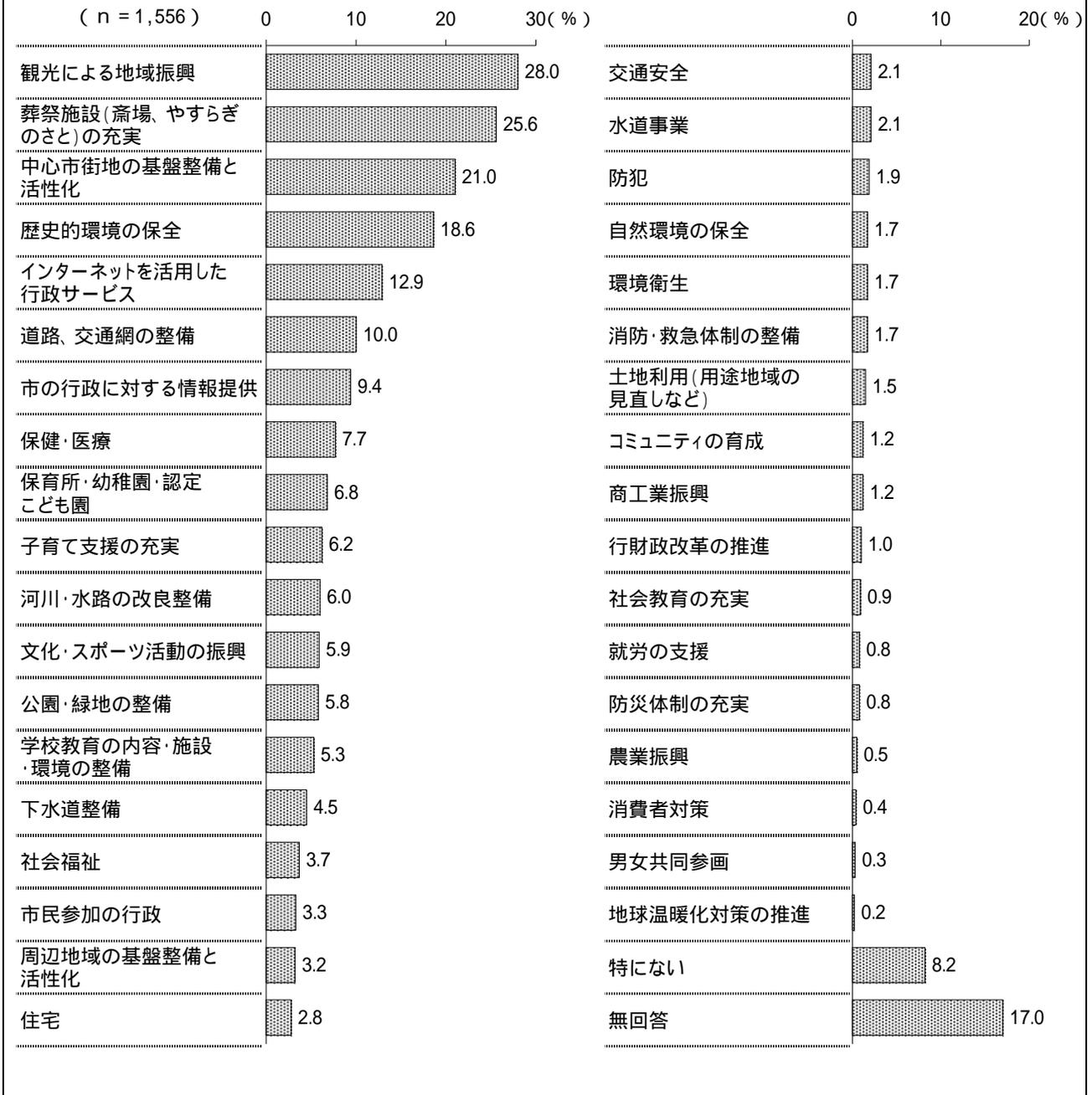
( 8 ) よくなってきた市の施策 / 力を入れるべき市の施策

1. よくなってきた市の施策

「観光による地域振興」が28.0%

問55 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

図表 7 - 8 - 1

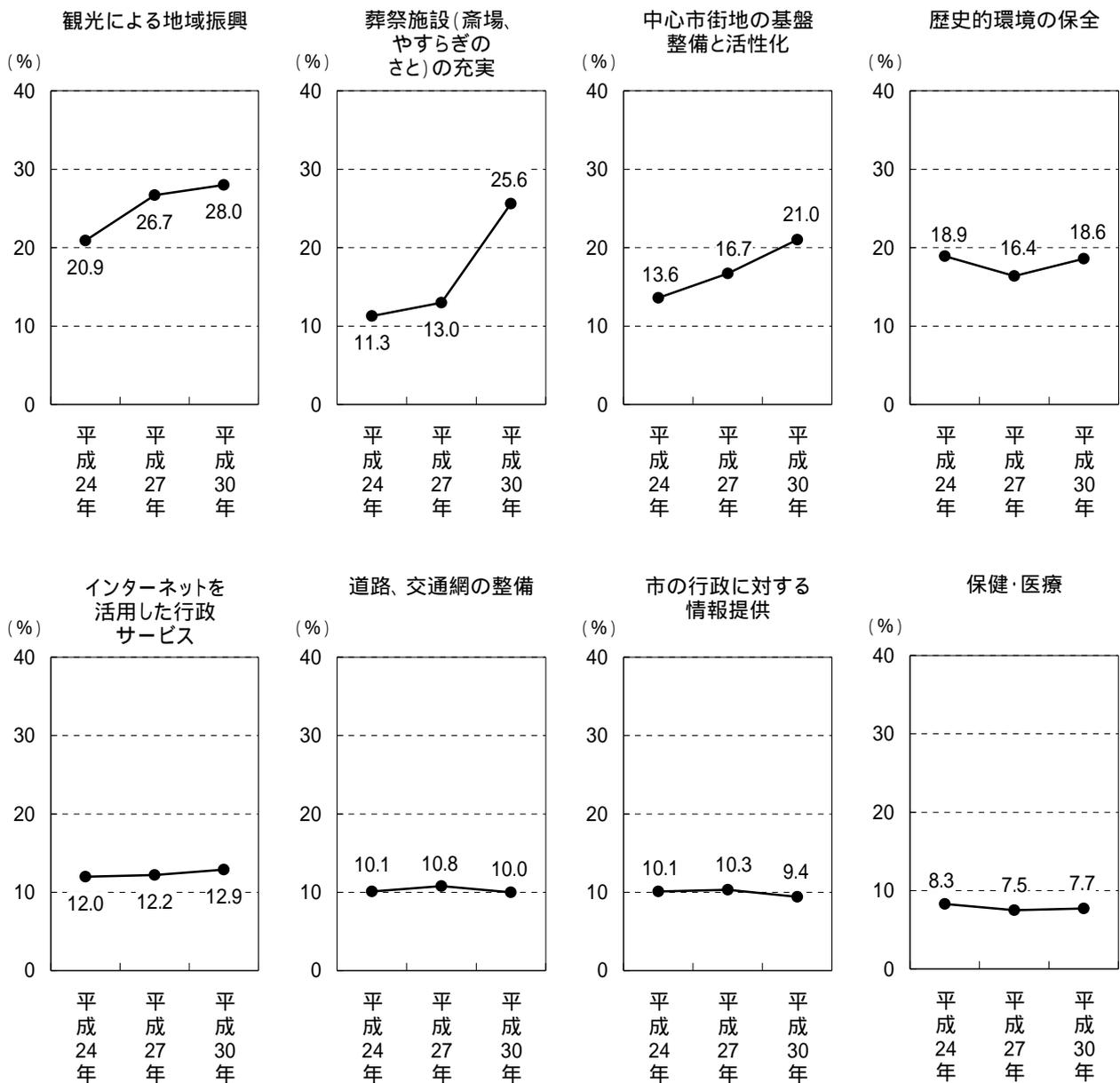


よくなってきた市の施策をたずねたところ、「観光による地域振興」(28.0%)が3割近くで最も多くなっている。以下、「葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実」(25.6%)、「中心市街地の基盤整備と活性化」(21.0%)、「歴史的環境の保全」(18.6%)などの順となっている。

( 図表 7 - 8 - 1 )

上位8項目を時系列で見ると、「観光による地域振興」、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」、「中心市街地の基盤整備と活性化」、「インターネットを活用した行政サービス」は平成24年以降増加傾向となっており、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」では前回調査より12.6ポイント増加している。（図表7-8-2）

図表7-8-2 時系列（上位8項目） - よくなってきた市の施策



地区別に上位5項目をみると、「葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実」は古谷地区、南古谷地区、高階地区、川鶴地区、名細地区、山田地区の6地区で第1位にあげられている。「観光による地域振興」は本庁地区、芳野地区、福原地区、大東地区、霞ヶ関地区の5地区で第1位にあげられている。「歴史的環境の保全」は霞ヶ関北地区で第1位にあげられている。(図表7-8-3)

図表7-8-3 地区別(上位5項目) - よくなってきた市の施策

(%)

順位 属性	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,556	観光による地域振興 28.0	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.6	中心市街地の基盤整備と活性化 21.0	歴史的環境の保全 18.6	インターネットを活用した行政サービス 12.9
【地区別】						
本 庁 地 区	341	観光による地域振興 38.7	中心市街地の基盤整備と活性化 26.1	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.8	歴史的環境の保全 24.3	インターネットを活用した行政サービス 14.4
芳 野 地 区	48	観光による地域振興 29.2	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.0	保育所・幼稚園・認定こども園 18.8	インターネットを活用した行政サービス/中心市街地の基盤整備と活性化 16.7	
古 谷 地 区	66	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 40.9	観光による地域振興 27.3	中心市街地の基盤整備と活性化 22.7	インターネットを活用した行政サービス 19.7	市の行政に対する情報提供 15.2
南 古 谷 地 区	120	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 27.5	観光による地域振興 20.8	インターネットを活用した行政サービス 18.3	中心市街地の基盤整備と活性化 16.7	歴史的環境の保全 15.8
高 階 地 区	210	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.2	観光による地域振興 23.3	中心市街地の基盤整備と活性化 19.0	歴史的環境の保全 14.3	河川・水路の改良整備 12.4
福 原 地 区	85	観光による地域振興 18.8	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 16.5	道路、交通網の整備 15.3	保健・医療 / 中心市街地の基盤整備と活性化 14.1	
大 東 地 区	153	観光による地域振興 31.4	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 26.8	中心市街地の基盤整備と活性化 22.2	歴史的環境の保全 15.0	インターネットを活用した行政サービス / 保健・医療 11.1
霞 ヶ 関 地 区	209	観光による地域振興 27.3	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 23.9	中心市街地の基盤整備と活性化 22.0	歴史的環境の保全 20.1	市の行政に対する情報提供 / インターネットを活用した行政サービス 9.6
川 鶴 地 区	71	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.2	観光による地域振興 26.8	歴史的環境の保全 / 中心市街地の基盤整備と活性化 19.7		市の行政に対する情報提供 / インターネットを活用した行政サービス 12.7
霞 ヶ 関 北 地 区	56	歴史的環境の保全 25.0	中心市街地の基盤整備と活性化 21.4	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 16.1	観光による地域振興 14.3	市の行政に対する情報提供 / 公園・緑地の整備 10.7
名 細 地 区	101	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 30.7	観光による地域振興 26.7	歴史的環境の保全 21.8	インターネットを活用した行政サービス 18.8	中心市街地の基盤整備と活性化 17.8
山 田 地 区	62	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 30.6	観光による地域振興 27.4	中心市街地の基盤整備と活性化 22.6	歴史的環境の保全 19.4	保健・医療 14.5

性別に上位5項目をみると、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は女性（27.8%・第2位）が男性（23.6%・第2位）より4.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「観光による地域振興」は男性の20歳代から50歳代と女性の20歳代、30歳代、50歳代で同率を含め第1位にあげられている。「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は男性70歳以上と女性の40歳代以上の年代で同率を含め第1位にあげられている。「中心市街地の基盤整備と活性化」は男性60歳代で第1位にあげられている。（図表7-8-4）

図表7-8-4 性別、性・年代別（上位5項目） - よくなってきた市の施策

(%)

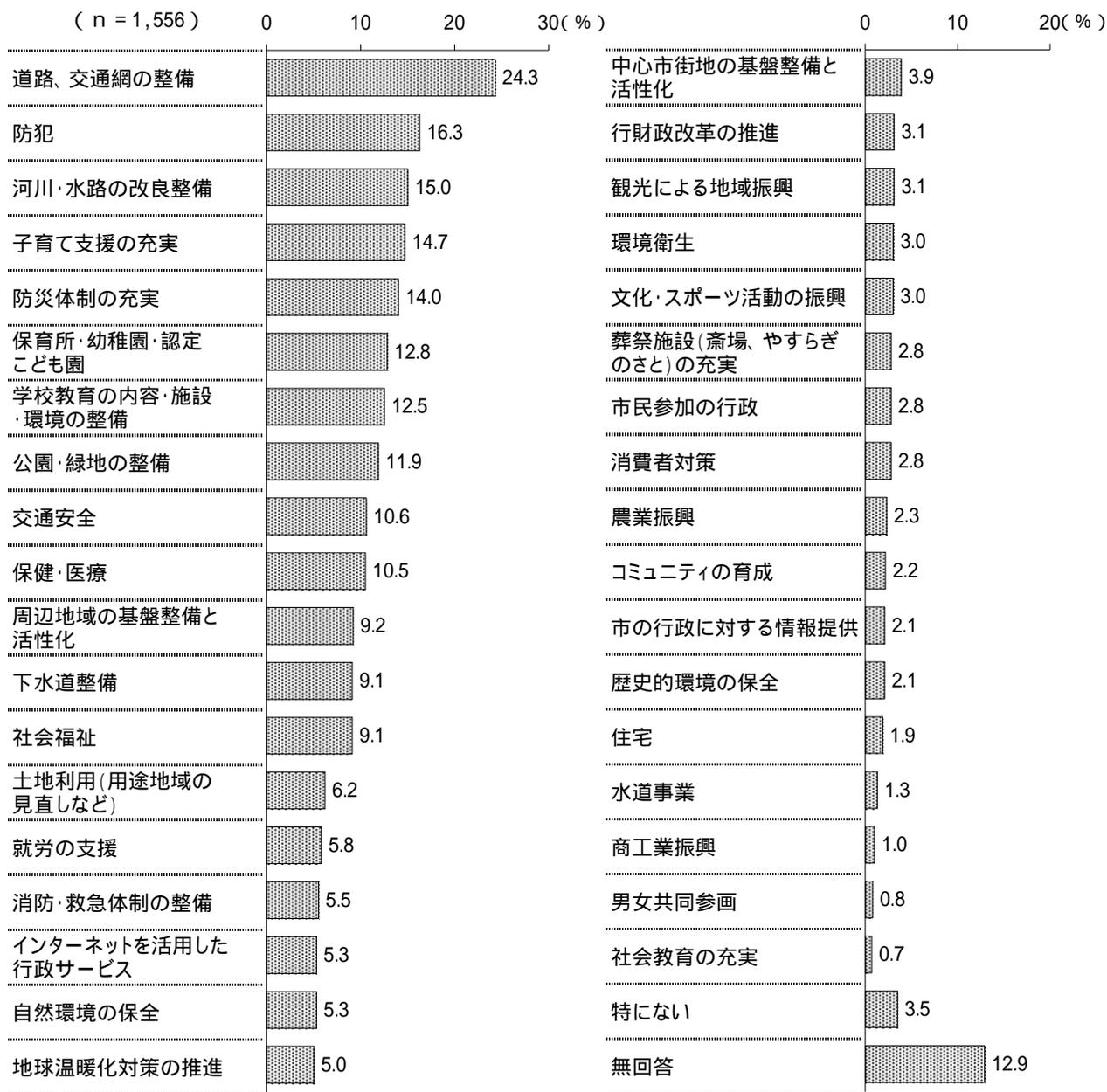
属性	順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,556	観光による地域振興 28.0	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.6	中心市街地の基盤整備と活性化 21.0	歴史的環境の保全 18.6	インターネットを活用した行政サービス 12.9
【性別、性・年代別】							
男 性 ( 計 )		649	観光による地域振興 28.0	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 23.6	中心市街地の基盤整備と活性化 22.3	歴史的環境の保全 20.8	道路、交通網の整備 13.1
18・19歳		5	インターネットを活用した行政サービス/子育て支援の充実 40.0		市民参加の行政/歴史的環境の保全/葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 20.0		
20歳代		59	観光による地域振興 32.2	歴史的環境の保全 28.8	中心市街地の基盤整備と活性化 20.3	インターネットを活用した行政サービス 16.9	道路、交通網の整備 15.3
30歳代		81	観光による地域振興 29.6	歴史的環境の保全 23.5	中心市街地の基盤整備と活性化 22.2	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 14.8	インターネットを活用した行政サービス/道路、交通網の整備 11.1
40歳代		125	観光による地域振興 36.8	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.8	中心市街地の基盤整備と活性化 25.6	歴史的環境の保全 24.8	インターネットを活用した行政サービス 16.8
50歳代		87	観光による地域振興 32.2	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 27.6	歴史的環境の保全 21.8	中心市街地の基盤整備と活性化 17.2	道路、交通網の整備 14.9
60歳代		138	中心市街地の基盤整備と活性化 23.9	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 23.2	観光による地域振興 21.7	市の行政に対する情報提供 18.8	歴史的環境の保全 15.9
70歳以上		154	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.6	中心市街地の基盤整備と活性化/観光による地域振興 22.7	市の行政に対する情報提供 17.5	市の行政に対する情報提供 17.5	歴史的環境の保全 16.9
女 性 ( 計 )		853	観光による地域振興 28.1	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 27.8	中心市街地の基盤整備と活性化 20.6	歴史的環境の保全 17.4	インターネットを活用した行政サービス 12.9
18・19歳		5	歴史的環境の保全 60.0	市の行政に対する情報提供/行財政改革の推進/保育所・幼稚園・認定こども園/文化・スポーツ活動の振興/学校教育の内容・施設・環境の整備/公園・緑地の整備/消費者対策 20.0			
20歳代		82	観光による地域振興 40.2	歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化 19.5	インターネットを活用した行政サービス 17.1	道路、交通網の整備 13.4	
30歳代		158	観光による地域振興 31.0	インターネットを活用した行政サービス/歴史的環境の保全 18.4	中心市街地の基盤整備と活性化 17.1	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 15.8	
40歳代		152	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 33.6	観光による地域振興 29.6	中心市街地の基盤整備と活性化 19.1	インターネットを活用した行政サービス/歴史的環境の保全 17.8	
50歳代		126	観光による地域振興/葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 36.5	中心市街地の基盤整備と活性化 27.8	歴史的環境の保全 23.0	インターネットを活用した行政サービス 18.3	
60歳代		158	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 39.2	観光による地域振興 24.7	中心市街地の基盤整備と活性化 22.8	歴史的環境の保全 19.0	市の行政に対する情報提供 10.8
70歳以上		172	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.6	中心市街地の基盤整備と活性化 19.2	観光による地域振興 16.3	保健・医療 15.7	市の行政に対する情報提供 9.9

## 2. 力を入れるべき市の施策

「道路、交通網の整備」が24.3%

問55 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

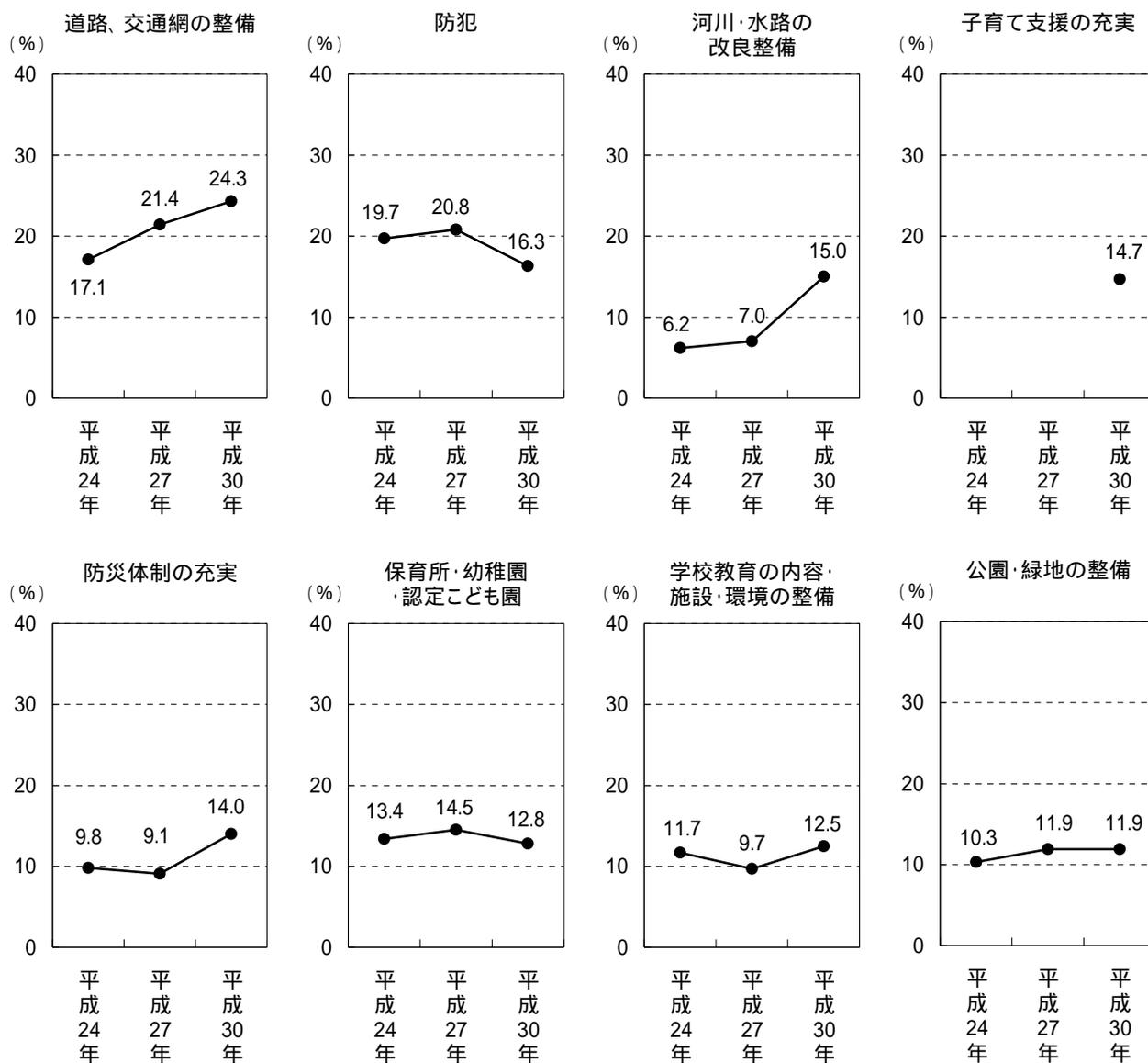
図表 7 - 8 - 5



力を入れるべき市の施策をたずねたところ、「道路、交通網の整備」(24.3%)が2割半ばで最も多くなっている。以下、「防犯」(16.3%)、「河川・水路の改良整備」(15.0%)、「子育て支援の充実」(14.7%)などの順となっている。(図表7-8-5)

上位8項目を時系列で見ると、「河川・水路の改良整備」は前回調査より8.0ポイント、「防災体制の充実」は前回調査より4.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「防犯」は前回調査より4.5ポイント減少している。（図表7-8-6）

図表7-8-6 時系列（上位8項目）- 力を入れるべき市の施策



（注）「子育て支援の充実」は、平成30年から追加された選択肢。

地区別に上位5項目をみると、「道路、交通網の整備」は古谷地区と川鶴地区を除く10地区で同率を含め第1位にあげられている。「河川・水路の改良整備」は古谷地区で第1位にあげられている。「子育て支援の充実」は川鶴地区で第1位にあげられている。「防犯」は霞ヶ関北地区で同率で第1位にあげられている。(図表7-8-7)

図表7-8-7 地区別(上位5項目) - 力を入れるべき市の施策

(%)

順位 属性	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,556	道路、交通網の整備 24.3	防犯 16.3	河川・水路の改良整備 15.0	子育て支援の充実 14.7	防災体制の充実 14.0
【地区別】						
本 庁 地 区	341	道路、交通網の整備 30.2	防犯 17.9	子育て支援の充実/河川・水路の改良整備 15.2	公園・緑地の整備/防災体制の充実 14.1	
芳 野 地 区	48	道路、交通網の整備 27.1	河川・水路の改良整備 25.0	子育て支援の充実 22.9	学校教育の内容・施設・環境の整備 20.8	公園・緑地の整備 16.7
古 谷 地 区	66	河川・水路の改良整備 31.8	下水道整備 21.2	防犯 16.7	保育所・幼稚園・認定こども園/道路、交通網の整備 15.2	
南古谷地区	120	道路、交通網の整備 26.7	河川・水路の改良整備 21.7	防犯 17.5	子育て支援の充実/防災体制の充実 16.7	
高 階 地 区	210	道路、交通網の整備 24.3	防犯 18.1	河川・水路の改良整備 16.2	公園・緑地の整備/防災体制の充実 15.2	
福 原 地 区	85	道路、交通網の整備 21.2	下水道整備 17.6	交通安全 14.1	子育て支援の充実/防犯/防災体制の充実 12.9	
大 東 地 区	153	道路、交通網の整備 21.6	保育所・幼稚園・認定こども園/子育て支援の充実 17.6	防災体制の充実 17.0	学校教育の内容・施設・環境の整備/防犯 16.3	
霞ヶ関地区	209	道路、交通網の整備 24.4	防犯 17.2	保育所・幼稚園・認定こども園/学校教育の内容・施設・環境の整備 12.9	公園・緑地の整備 12.4	
川 鶴 地 区	71	子育て支援の充実 22.5	保健・医療 18.3	保育所・幼稚園・認定こども園/防災体制の充実 14.1	周辺地域の基盤整備と活性化/道路、交通網の整備/防犯 11.3	
霞ヶ関北地区	56	道路、交通網の整備/防犯 19.6	防災体制の充実 17.9	保健・医療/河川・水路の改良整備 14.3		
名 細 地 区	101	道路、交通網の整備 23.8	河川・水路の改良整備 19.8	下水道整備 16.8	社会福祉/防犯 15.8	
山 田 地 区	62	道路、交通網の整備 30.6	学校教育の内容・施設・環境の整備 22.6	公園・緑地の整備 19.4	子育て支援の充実 16.1	下水道整備/河川・水路の改良整備 12.9

性別に上位5項目をみると、「道路、交通網の整備」は男性(26.5%・第1位)が女性(22.7%・第1位)より3.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「道路、交通網の整備」は男性の40歳代以上の年代と女性の50歳代以上の年代で同率を含め第1位にあげられている。「子育て支援の充実」は男性30歳代と女性の20歳代、30歳代で第1位にあげられている。「防犯」は男性20歳代で第1位にあげられている。「河川・水路の改良整備」は男性60歳代で同率を含め第1位にあげられている。「学校教育の内容・施設・環境の整備」は女性40歳代で第1位にあげられている。(図表7-8-8)

図表7-8-8 性別、性・年代別(上位5項目) - 力を入れるべき市の施策

(%)

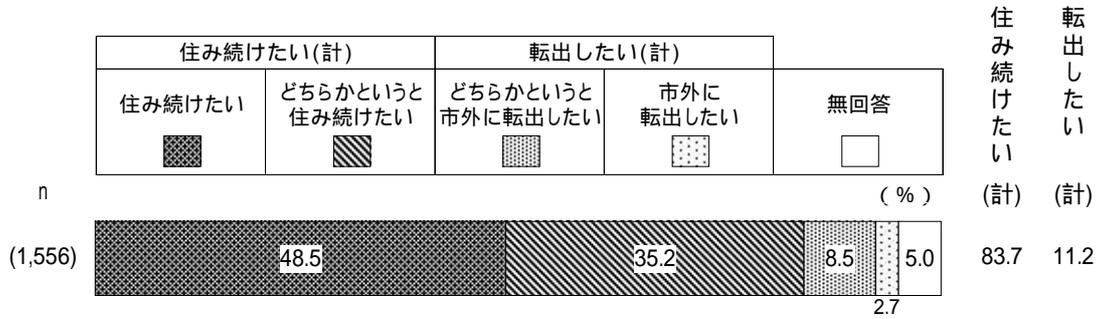
属性	順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,556	道路、交通網の整備 24.3	防犯 16.3	河川・水路の改良整備 15.0	子育て支援の充実 14.7	防災体制の充実 14.0
【性別、性・年代別】							
男性(計)		649	道路、交通網の整備 26.5	河川・水路の改良整備/防犯 16.5		防災体制の充実 13.9	子育て支援の充実 13.6
18・19歳		5	防犯 40.0	文化・スポーツ活動の振興/学校教育の内容・施設・環境の整備/周辺地域の基盤整備と活性化/道路、交通網の整備/下水道整備/公園・緑地の整備/河川・水路の改良整備/交通安全/消防・救急体制の整備/消費者対策 20.0			
20歳代		59	防犯 25.4	道路、交通網の整備 20.3	保育所・幼稚園・認定こども園 18.6	子育て支援の充実 15.3	インターネットを活用した行政サービス 13.6
30歳代		81	子育て支援の充実 37.0	道路、交通網の整備 30.9	保育所・幼稚園・認定こども園 21.0	交通安全 16.0	学校教育の内容・施設・環境の整備 13.6
40歳代		125	道路、交通網の整備 34.4	子育て支援の充実 17.6	河川・水路の改良整備 16.0	防犯 15.2	インターネットを活用した行政サービス/学校教育の内容・施設・環境の整備/就労の支援/防災体制の充実 12.0
50歳代		87	道路、交通網の整備 28.7	河川・水路の改良整備 19.5	交通安全 17.2	防犯/防災体制の充実 16.1	
60歳代		138	道路、交通網の整備/河川・水路の改良整備/防犯 18.8			防災体制の充実 16.7	保健・医療 14.5
70歳以上		154	道路、交通網の整備 26.0	周辺地域の基盤整備と活性化 17.5	河川・水路の改良整備/防災体制の充実 16.9		防犯 14.3
女性(計)		853	道路、交通網の整備 22.7	防犯 16.4	子育て支援の充実 15.9	学校教育の内容・施設・環境の整備 15.1	防災体制の充実 14.7
18・19歳		5	学校教育の内容・施設・環境の整備/道路、交通網の整備 40.0		文化・スポーツ活動の振興/社会教育の充実/周辺地域の基盤整備と活性化/公園・緑地の整備/自然環境の保全/防災体制の充実 20.0		
20歳代		82	子育て支援の充実 35.4	保育所・幼稚園・認定こども園 31.7	道路、交通網の整備 20.7	防犯 15.9	公園・緑地の整備 14.6
30歳代		158	子育て支援の充実 42.4	保育所・幼稚園・認定こども園 32.3	学校教育の内容・施設・環境の整備 27.8	公園・緑地の整備 24.1	道路、交通網の整備 20.9
40歳代		152	学校教育の内容・施設・環境の整備 26.3	道路、交通網の整備 23.0	防災体制の充実 19.7	防犯 18.4	公園・緑地の整備 16.4
50歳代		126	道路、交通網の整備 26.2	防犯 21.4	防災体制の充実 19.8	河川・水路の改良整備 16.7	社会福祉 15.1
60歳代		158	道路、交通網の整備 22.8	防災体制の充実 16.5	河川・水路の改良整備 15.8	防犯 14.6	社会福祉 13.9
70歳以上		172	道路、交通網の整備 22.1	防犯 15.7	河川・水路の改良整備/防災体制の充実 14.0		地球温暖化対策の推進 12.2

( 9 ) 市への定住意向

『住み続けたい(計)』は83.7%

問56 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。( は1つ)

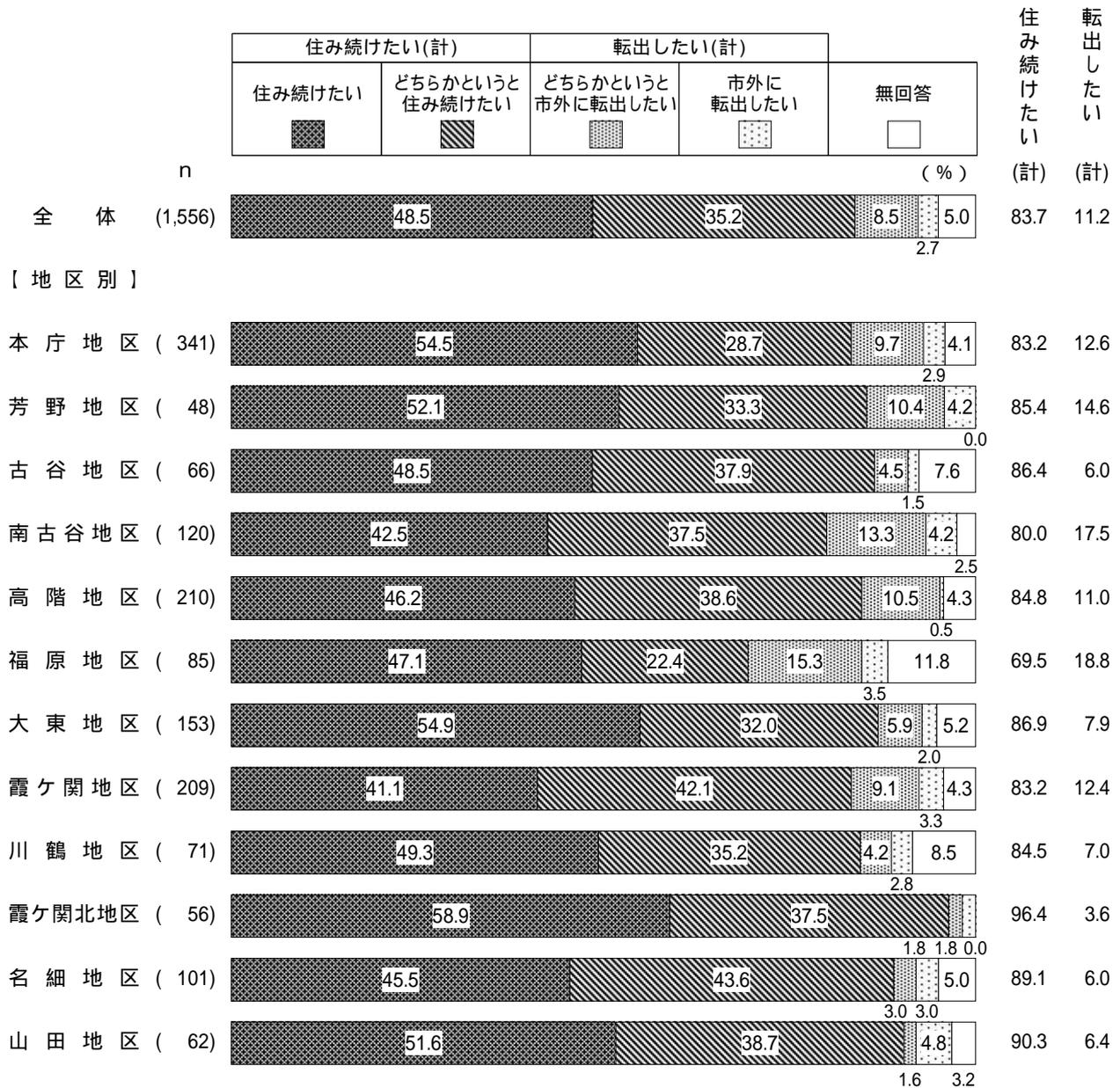
図表 7 - 9 - 1



市への定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」(48.5%)と「どちらかという住み続けたい」(35.2%)を合わせた『住み続けたい(計)』(83.7%)は8割を超えて多くなっている。一方、「どちらかという市外に転出したい」(8.5%)と「市外に転出したい」(2.7%)を合わせた『転出したい(計)』(11.2%)は1割を超えている。(図表7-9-1)

地区別にみると、『住み続けたい(計)』は霞ヶ関北地区と山田地区で9割台と多くなっている。一方、『転出したい(計)』は福原地区と南古谷地区で2割近くとなっている。(図表7-9-2)

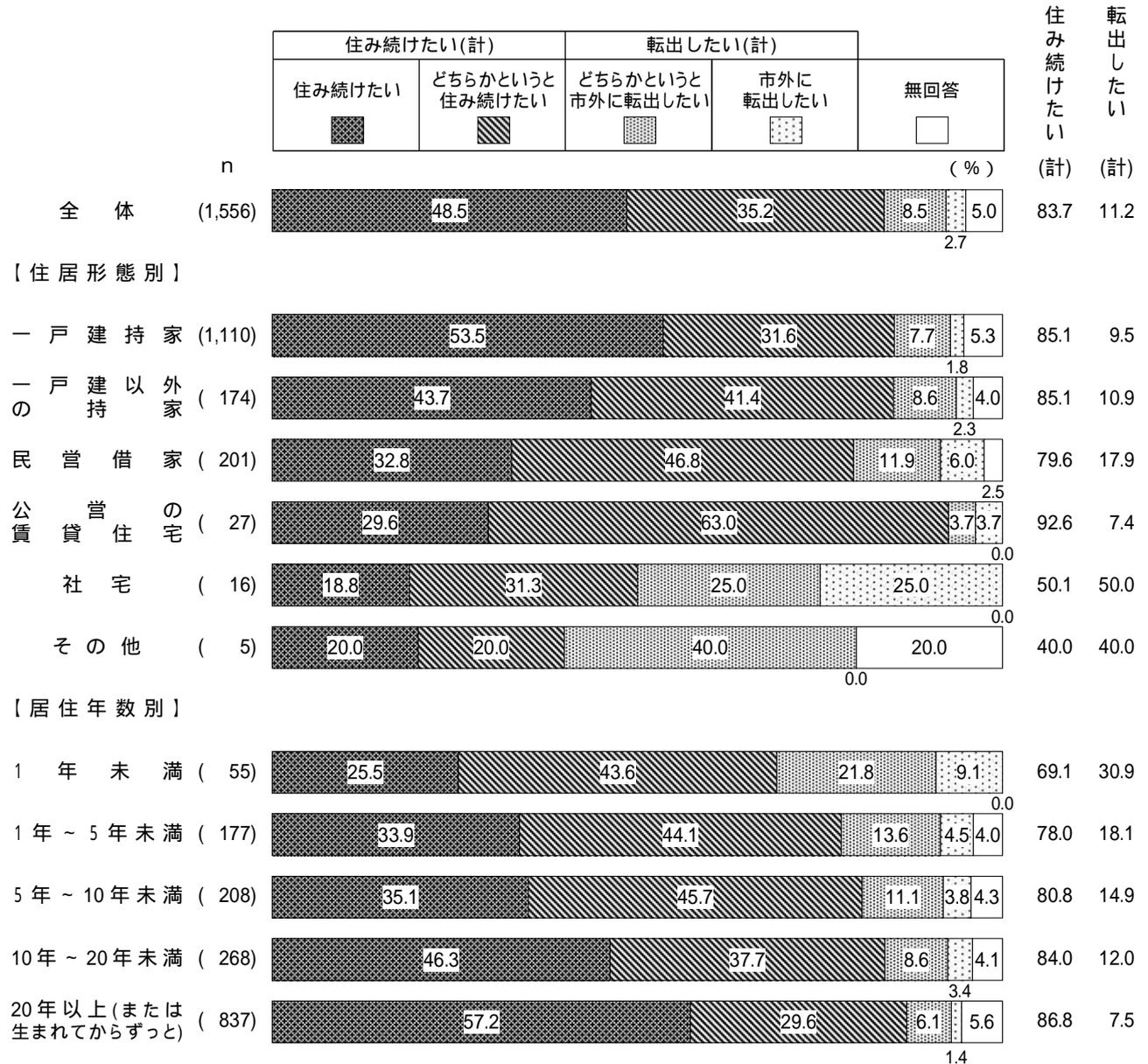
図表7-9-2 地区別 - 市への定住意向



住居形態別にみると、『住みたい(計)』は公営の賃貸住宅で9割を超え、一戸建持家と一戸建以外の持家で8割半ばと多くなっている。

居住年数別にみると、『住みたい(計)』は居住年数が長くなるほど、割合が多くなる傾向がみられる。一方、『転出したい(計)』は1年未満で約3割と多くなっている。(図表7-9-3)

図表7-9-3 住居形態別、居住年数別 - 市への定住意向

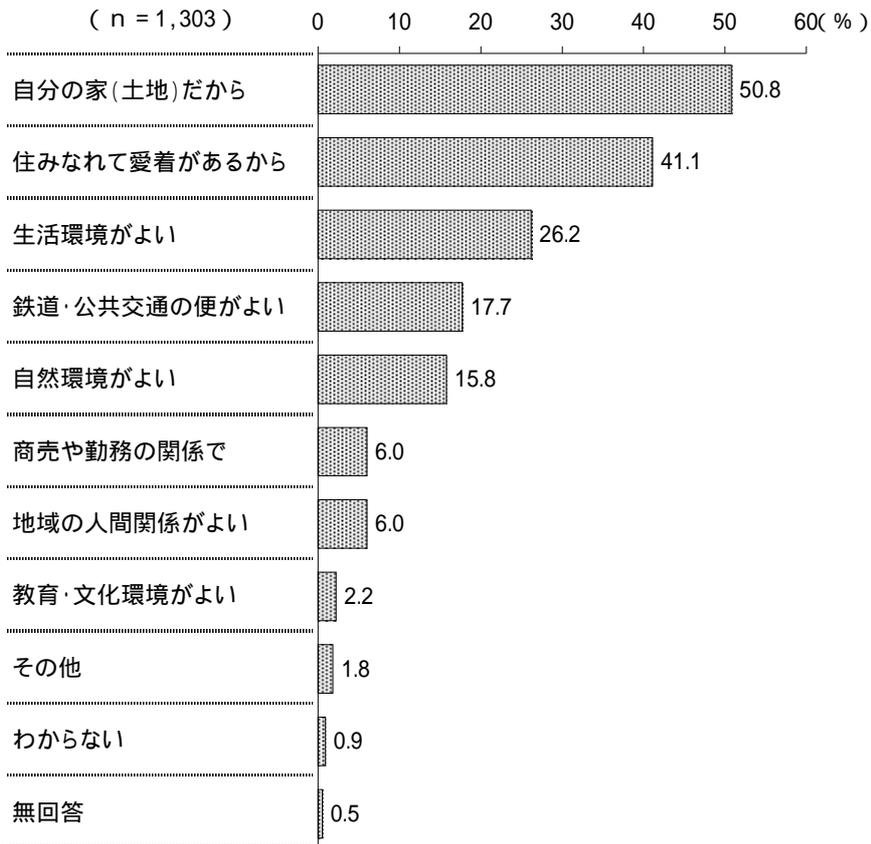


(10) 定住意向理由

「自分の家(土地)だから」が50.8%

問56 で「住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」と答えた方におたずねします。  
問56 川越市に住み続けたいというのは、特にどういう理由からですか。次の中から2つ以内で選んでください。( は2つ以内)

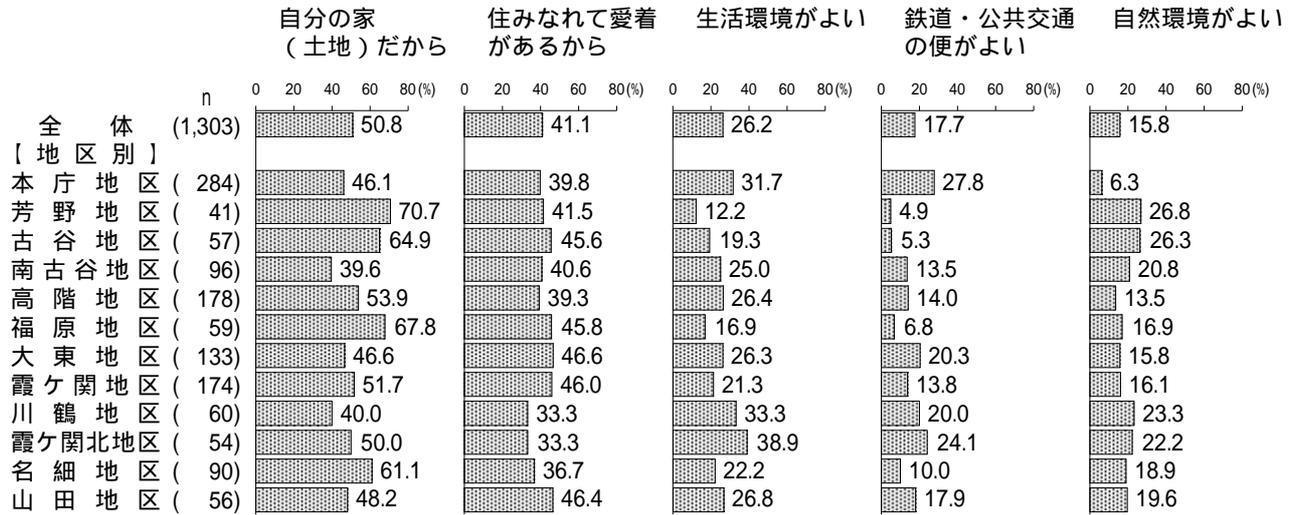
図表 7-10-1



問56 で「住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」と答えた人(1,303人)に、その理由をたずねたところ、「自分の家(土地)だから」(50.8%)が約5割で最も多くなっている。以下、「住みなれて愛着があるから」(41.1%)、「生活環境がよい」(26.2%)、「鉄道・公共交通の便がよい」(17.7%)などの順となっている。(図表 7-10-1)

上位5項目を地区別にみると、「自分の家(土地)だから」は芳野地区、福原地区で約7割と多くなっている。「生活環境がよい」は霞ヶ関北地区で4割近くと多くなっている。「鉄道・公共交通の便がよい」は本庁地区で3割近くと多くなっている。(図表7-10-2)

図表7-10-2 地区別(上位5項目) - 定住意向理由

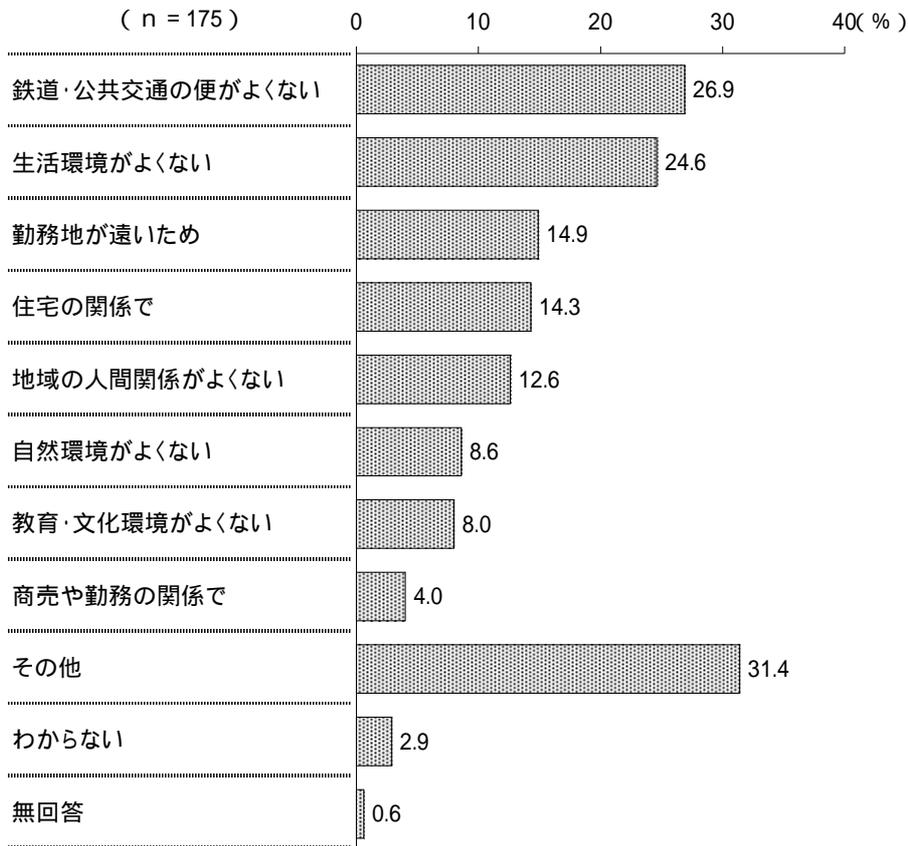


(11) 転出意向理由

「鉄道・公共交通の便がよくない」が26.9%

問56 で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と答えた方におたずねします。  
問56 市外へ移りたいというのは、特にどういう理由からですか。次の中から2つ以内で  
選んでください。( は2つ以内)

図表7-11-1



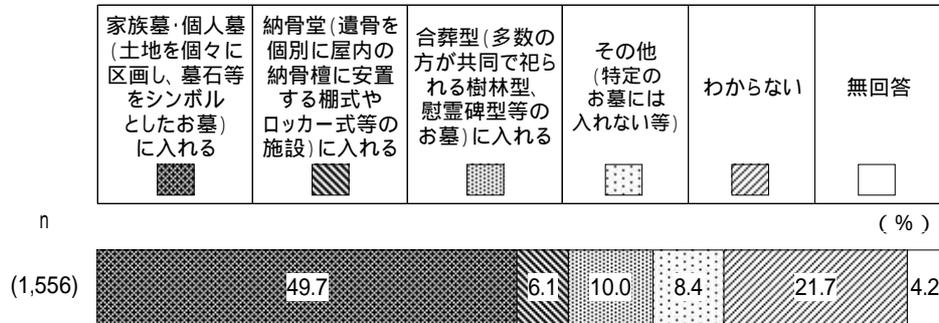
問56 で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と答えた人(175人)に、その理由をたずねたところ、「鉄道・公共交通の便がよくない」(26.9%)が3割近くで最も多くなっている。以下、「生活環境がよくない」(24.6%)、「勤務地が遠いため」(14.9%)、「住宅の関係で」(14.3%)などの順となっている。(図表7-11-1)

(12) 自身の遺骨の扱いに関する希望

「家族墓・個人墓（土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓）に入れる」が49.7%

問57 ご自身が亡くなったら、遺骨はどのようにして欲しいですか。（ は1つ）

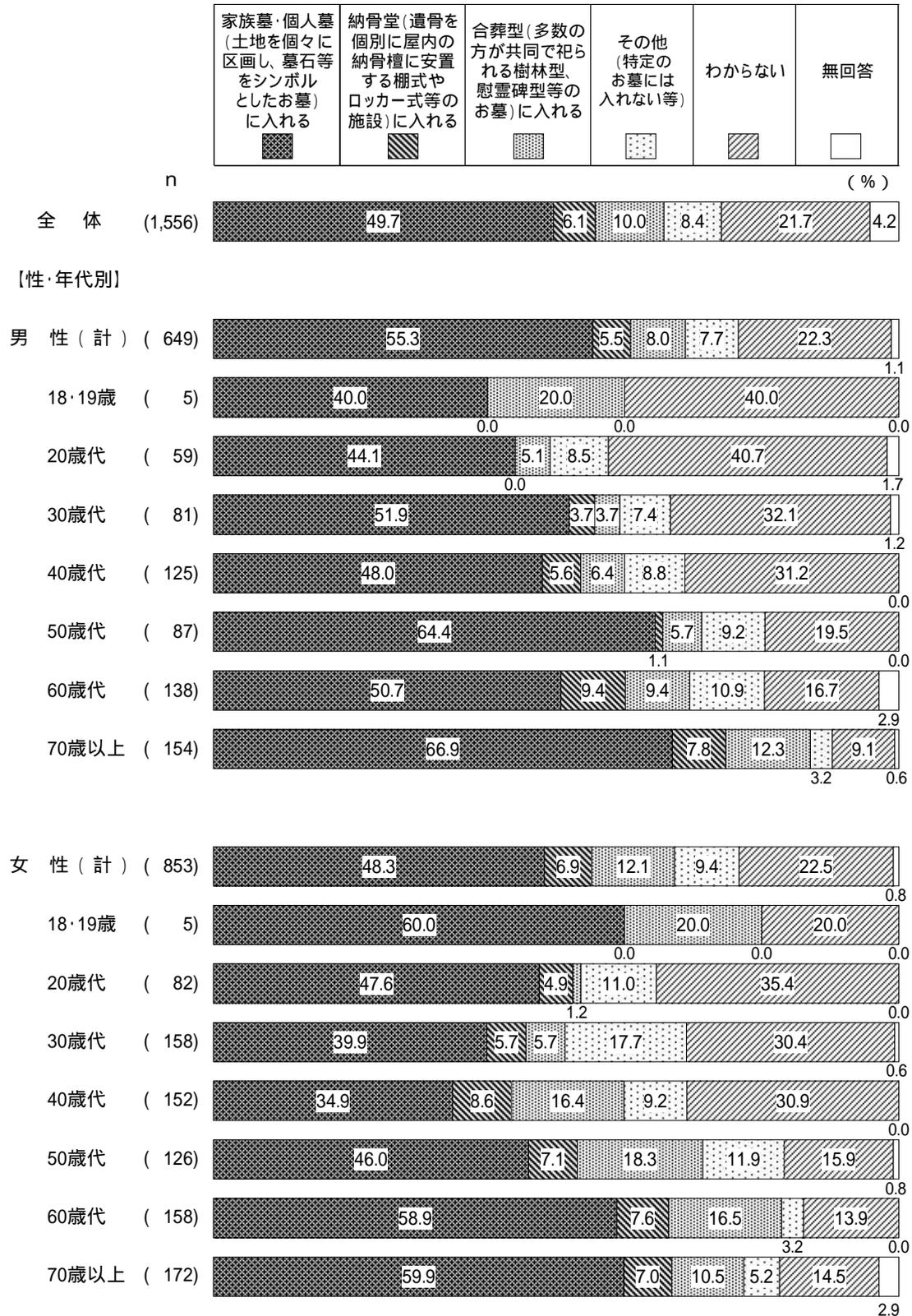
図表 7 -12- 1



自身の遺骨の扱いに関する希望をたずねたところ、「家族墓・個人墓（土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓）に入れる」（49.7%）が5割で最も多くなっている。以下、「合葬型（多数の方が共同で祀られる樹林型、慰霊碑型等のお墓）に入れる」（10.0%）、「その他（特定のお墓には入れない等）」（8.4%）などの順となっている。（図表 7 -12- 1）

性・年代別にみると、「家族墓・個人墓（土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓）に入れる」は男性の50歳代と70歳以上で6割台と多くなっている。（図表7-12-2）

図表7-12-2 性・年代別 - 自身の遺骨の扱いに関する希望



(13) 墓地や納骨堂の所有状況

『持っている(計)』は66.2%

問57 あなたやご家族は、墓地や納骨堂をお持ちですか。( は1つ)

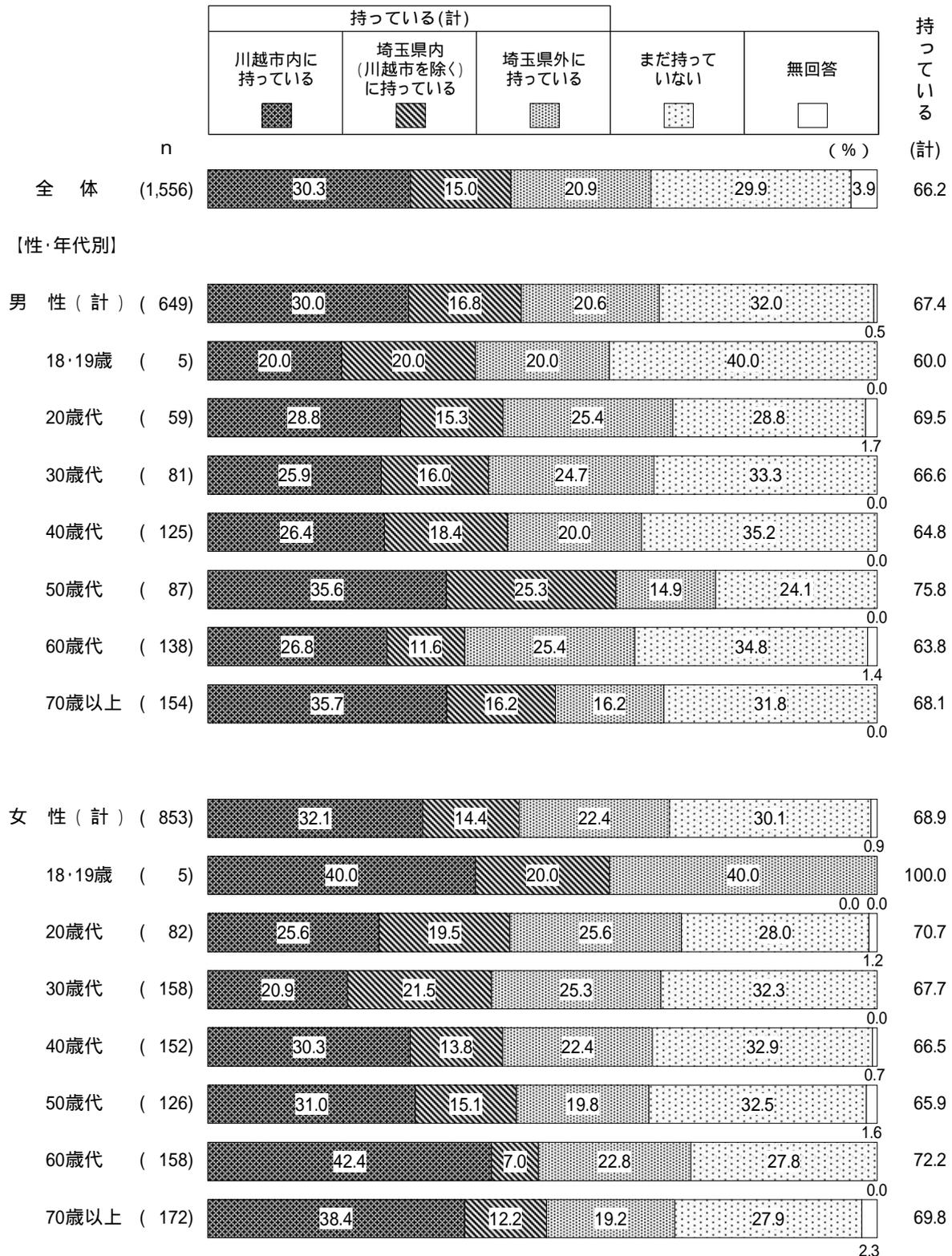
図表 7-13-1



墓地や納骨堂の所有状況をたずねたところ、「川越市内に持っている」(30.3%)が3割で最も多く、これに「埼玉県内(川越市を除く)に持っている」(15.0%)と「埼玉県外に持っている」(20.9%)を合わせた『持っている(計)』(66.2%)は6割半ばとなっている。一方、「まだ持っていない」(29.9%)は3割となっている。(図表 7-13-1)

性・年代別にみると、「川越市内に持っている」は女性60歳代で4割を超えて多くなっている。『持っている(計)』は男性50歳代と女性の20歳代、60歳代で7割台と多くなっている。一方、「まだ持っていない」は男性の40歳代と60歳代で3割半ばと多くなっている。(図表7-13-2)

図表7-13-2 性・年代別 - 墓地や納骨堂の所有状況

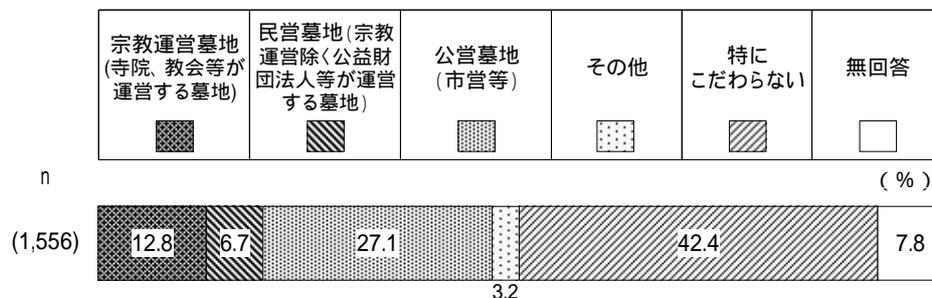


(14) 希望するお墓の種類

「特にこだわらない」が42.4%

問57 お墓を取得するとしたら、どのような種類がよいと思いますか。(すでにお持ちの方も新たに取得する場合としてお答えください)( は1つ)

図表 7-14-1

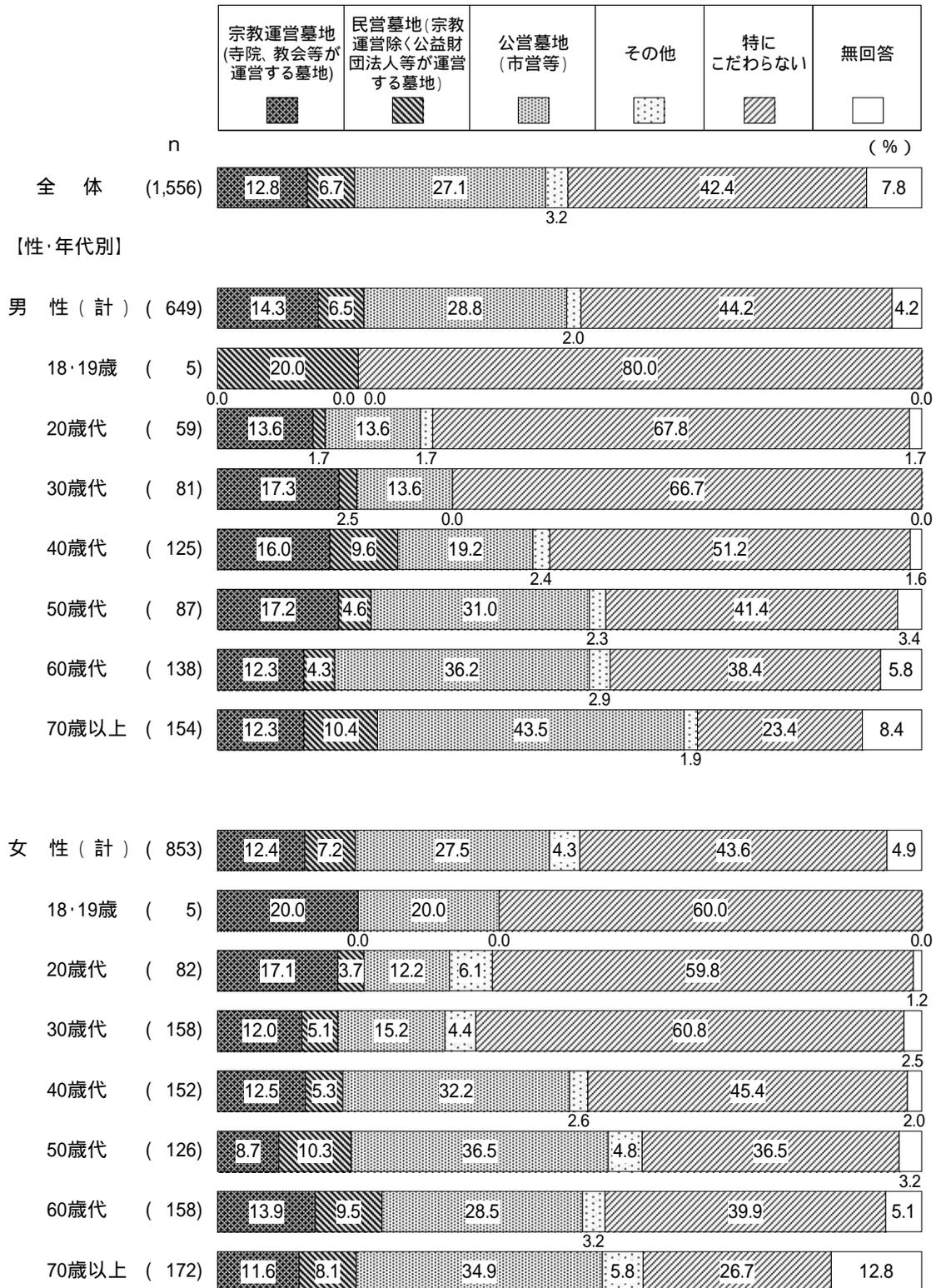


希望するお墓の種類をたずねたところ、「特にこだわらない」(42.4%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「公営墓地(市営等)」(27.1%)、「宗教運営墓地(寺院、教会等が運営する墓地)」(12.8%)、「民営墓地(宗教運営除く公益財団法人等が運営する墓地)」(6.7%)などの順となっている。(図表 7-14-1)

性・年代別にみると、「公営墓地（市営等）」は男性70歳以上で4割を超えて多くなっている。「特にこだわらない」は男性の20歳代と30歳代、女性30歳代で6割台と多くなっている。

( 図表 7 -14- 2 )

図表 7 -14- 2 性・年代別 - 希望するお墓の種類

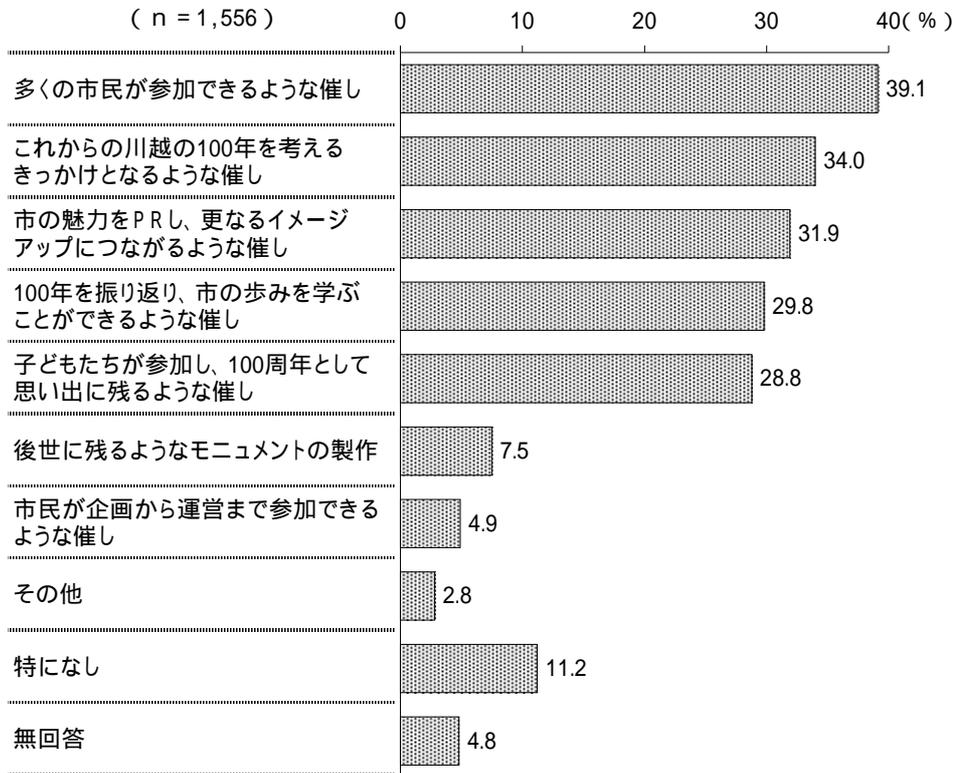


(15) 市制施行100周年の年に行ったらよいと思う催し

「多くの市民が参加できるような催し」が39.1%

問58 2022年に川越市は市制施行100周年を迎えます。あなたは、この節目の年に、どのような催しを行ったらよいと思いますか。(は3つ以内)

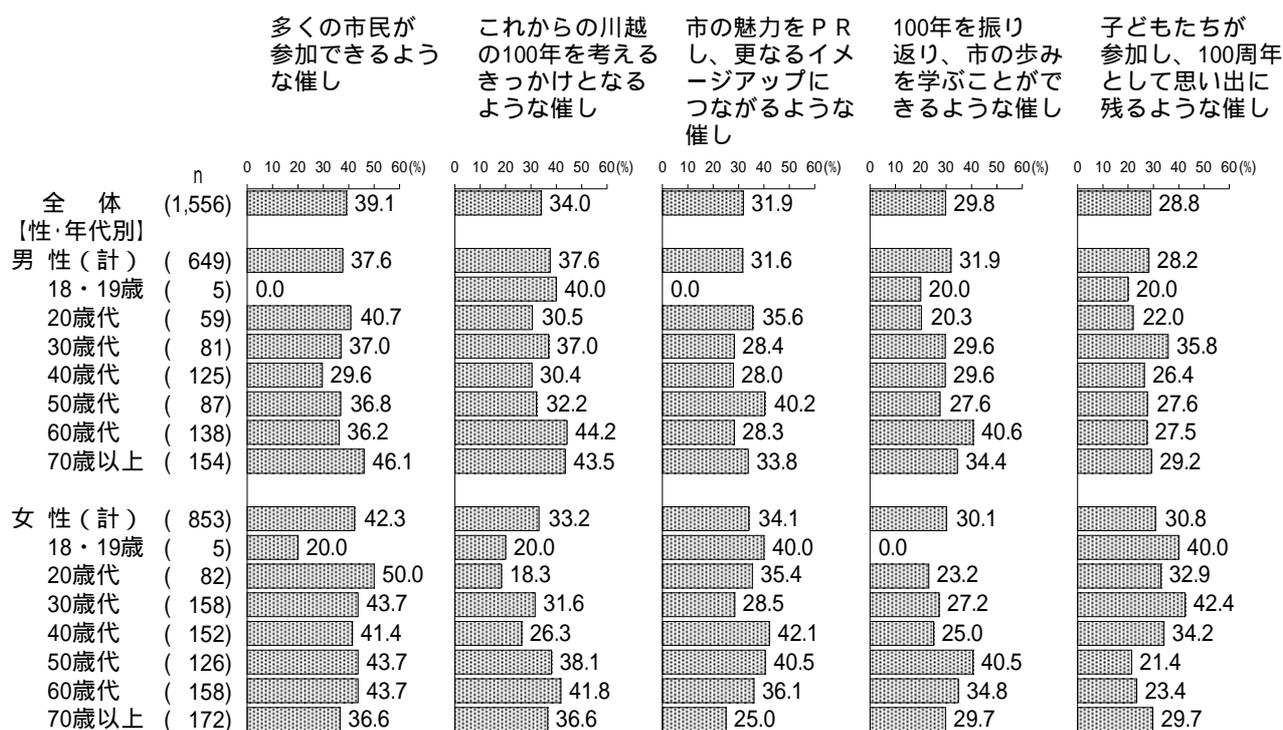
図表 7-15-1



市制施行100周年の年に行ったらよいと思う催しをたずねたところ、「多くの市民が参加できるような催し」(39.1%)が約4割で最も多くなっている。以下、「これからの川越の100年を考えるきっかけとなるような催し」(34.0%)、「市の魅力をPRし、更なるイメージアップにつながるような催し」(31.9%)、「100年を振り返り、市の歩みを学ぶことができるような催し」(29.8%)などの順となっている。(図表7-15-1)

上位5項目を性・年代別にみると、「多くの市民が参加できるような催し」は女性20歳代で5割と多くなっている。「これからの川越の100年を考えるきっかけとなるような催し」は男性の60歳代と70歳以上、女性60歳代で4割台と多くなっている。「子どもたちが参加し、100周年として思い出に残るような催し」は女性30歳代で4割を超えて多くなっている。(図表7-15-2)

図表7-15-2 性・年代別(上位5項目) - 市制施行100周年の年に行ったらよいと思う催し

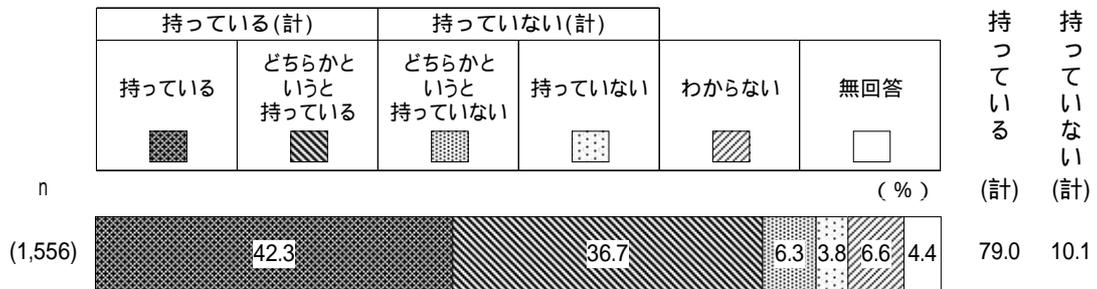


(16) 川越市への愛着

『持っている(計)』は79.0%

問59 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。( は1つ)

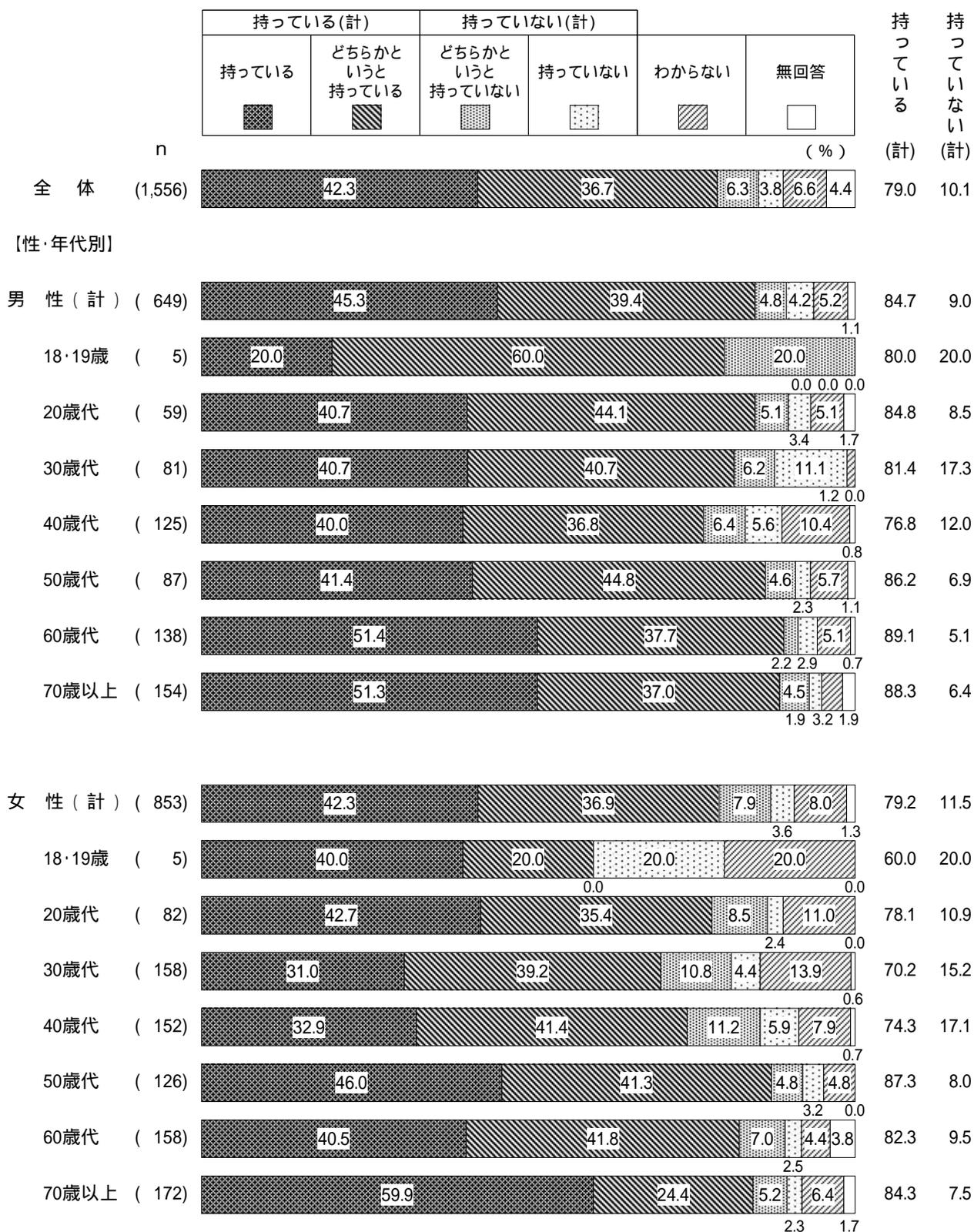
図表 7-16-1



川越市への愛着をたずねたところ、「持っている」(42.3%)と「どちらかというと持っている」(36.7%)を合わせた『持っている(計)』(79.0%)は約8割と多くなっている。一方、「どちらかというと持っていない」(6.3%)と「持っていない」(3.8%)を合わせた『持っていない(計)』(10.1%)は1割となっている。(図表7-16-1)

性・年代別にみると、『持っている(計)』は男性60歳代で約9割と多くなっている。一方、『持っていない(計)』は男性30歳代と女性40歳代で2割近くとなっている。(図表7-16-2)

図表7-16-2 性・年代別 - 川越市への愛着

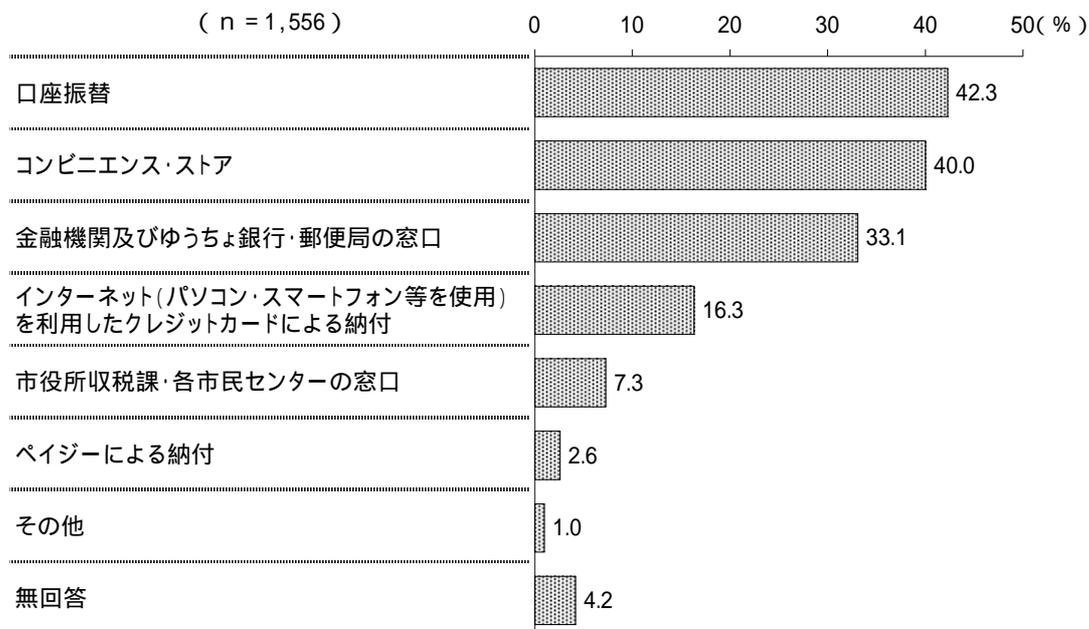


(17) 希望する市税納付方法

「口座振替」が42.3%

問60 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。（は2つ以内）

図表 7 -17- 1



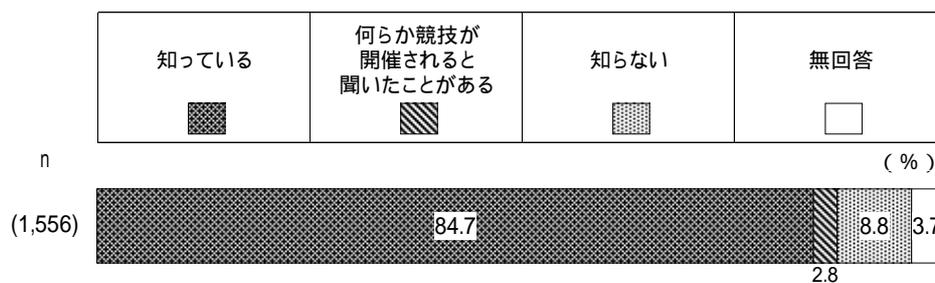
希望する市税納付方法をたずねたところ、「口座振替」（42.3%）が4割を超えて最も多くなっている。以下、「コンビニエンス・ストア」（40.0%）、「金融機関及びゆうちょ銀行・郵便局の窓口」（33.1%）、「インターネット（パソコン・スマートフォン等を使用）を利用したクレジットカードによる納付」（16.3%）などの順となっている。（図表 7 -17- 1）

### (18) 東京オリンピックのゴルフ競技の認知度

「知っている」が84.7%

問61 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。  
あなたは、川越市でゴルフ競技が開催されることを知っていますか。次の中からあ  
てはまるものを1つ選んでください。( は1つ)

図表 7 -18- 1



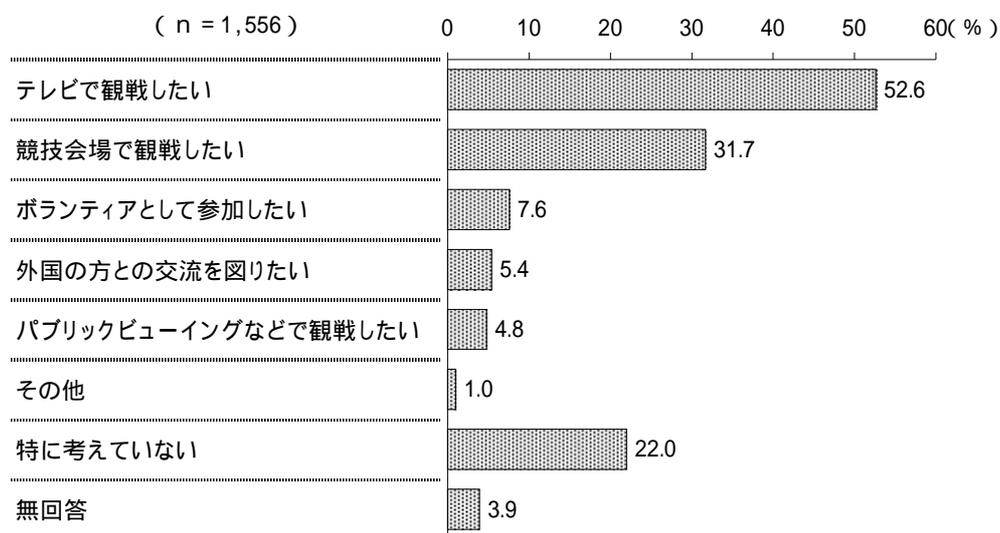
東京オリンピックのゴルフ競技の認知度をたずねたところ、「知っている」(84.7%)が8割半ば、「何らかの競技が開催されると聞いたことがある」(2.8%)はわずかとなっている。一方、「知らない」(8.8%)は1割未満となっている。(図表7-18-1)

## (19) 東京オリンピックへの関わり方

「テレビで観戦したい」が52.6%

問61 あなたは、東京オリンピックにはどのような形で関わりたいですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(はいいくつでも)

図表 7-19-1



東京オリンピックへの関わり方をたずねたところ、「テレビで観戦したい」(52.6%)が5割を超えて最も多くなっている。以下、「競技会場で観戦したい」(31.7%)、「ボランティアとして参加したい」(7.6%)、「外国の方との交流を図りたい」(5.4%)などの順となっている。

(図表 7-19-1)